



第43回 厚生労働大臣旗争奪

日整全国柔道大会

第28回 文部科学大臣杯争奪

日整全国少年柔道大会

第9回 文部科学大臣杯争奪

日整全国少年柔道形競技会

令和元年

全国柔道整復師高段者大会

【日時】 令和元 年10月14日(月・体育の日)

【開会】 午前7時30分開場 午前8時30分開始

【会場】 講道館



主催 公益社団法人日本柔道整復師会

後援 スポーツ庁・厚生労働省・東京都・公益財団法人講道館・公益財団法人全日本柔道連盟・公益財団法人東京都柔道連盟・産経新聞社

協賛 公益社団法人全国柔道整復学校協会・公益財団法人柔道整復研修試験財団・一般社団法人日本柔道整復接骨医学会
日本柔道整復師協同組合

柔道整復師倫理綱領

国民医療の一端として柔道整復術は、国民大衆に広く受け入れられ、民族医学として伝承してきたところであるが、限りない未来へ連綿として更に継承発展すべく、倫理綱領を定めるものとする。

ここに柔道整復師は、その名誉を重んじ、倫理綱領の崇高な理念と、目的達成に全力を傾注することを誓うものである。

1. 柔道整復師の職務に誇りと責任をもち、仁慈の心を以て人類への奉仕に生涯を貫く。
2. 日本古来の柔道精神を涵養し、国民の規範となるべく人格の陶冶に努める。
3. 相互に尊敬と協力を努め、分をわきまえ法を守り、業務を遂行する。
4. 学問を尊重し技術の向上に努めると共に、患者に対して常に真摯な態度と誠意を以て接する。
5. 業務上知りえた秘密を厳守すると共に、人種、信条、性別、社会的地位などにかかわらず患者の回復に全力を尽くす。

昭和62年6月14日制定



ご挨拶

公益社団法人 日本柔道整復師会
会長 工藤鉄男

全国都道府県から選抜された少年少女選手と日整15ブロックの代表選手とさらに全国から柔道整復師の高段者にもご参加をいただき、文部科学大臣杯争奪第28回日整全国少年柔道大会、第9回日整全国少年柔道形競技会、厚生労働大臣旗争奪第43回日整全国柔道大会、ならびに全国柔道整復師高段者大会を盛大に開催できますことを主催者として心から御礼申し上げます。

本大会は、日本古来の武道である柔道を通じて、少年少女の心身の健全な育成に努めるとともに、柔道整復師も整復術の源でもある柔道で自己の鍛錬と研鑽に努め、講道館柔道の普及発展に寄与することを目的として開催しております。

柔の道を学ぶことにより身に付ける礼の精神は人として欠かせないもので、相手を尊重して敬意を払う気持ちが礼であり、それを表現した作法が礼法です。礼の精神を養うことは、嘉納治五郎師範の訓えである「自他共栄」の精神を養うことにつながります。

出場される選手の皆様方は、日頃の鍛錬の成果を発揮するとともに、参加者全員で交流の輪を全国に広げ有意義な大会としていただき、特に少年少女には柔道を通し礼節を学び心豊かに成長され日々の生活や集団活動に活かされることを期待します。

柔道整復師は唯一「柔道」という冠がつく誇りある職業であり、先達が遺した台木を更なる時代の変化に求められる大きなものとするため制度改革や教育改革を積極的に行い、骨折・脱臼に回帰をするため「匠の技」伝承プロジェクトを立ち上げ、歩みを止めることなく業として確実な資質の向上を目指しております。2020年には柔道整復公認100年と東京オリンピック・パラリンピック大会が開催される記念すべき年を迎え、日本の伝統医療である柔道整復術も東京大会での競技や関係団体への支援として医療救護活動等のサポートで参画をして活躍できるよう関係省庁と協働しておりますので、皆様方の力強いご協力をお願いいたします。

結びに、本大会開催にあたり、ご後援をいただきましたスポーツ庁・厚生労働省・東京都・講道館・全日本柔道連盟・東京都柔道連盟・産経新聞社、ご協賛いただきました全国柔道整復学校協会・柔道整復研修試験財団・日本柔道整復接骨医学会・日本柔道整復師協同組合、そして、企画・運営にご尽力いただきました関係者の皆様方にこころより感謝申し上げます、挨拶といたします。



祝 辞

厚生労働大臣

加 藤 勝 信

第43回日整全国柔道大会が開催されるに当たり、一言お祝いの言葉を申し上げます。

本大会を主催される公益社団法人日本柔道整復師会におかれては、昭和28年の創立以来、柔道整復の普及発展、国民の保健衛生の向上に大きく貢献してこられました。これまでの関係者の皆様方のご尽力に対し、改めて敬意を表します。

我が国の医療制度は、高齢化が進展する中で、比較的低い国民負担で公平性を担保し、質の高い医療サービスを提供している点が世界的にも高く評価されており、我が国が誇る資産です。

しかし、高齢化がさらに進む中で、この貴重な資産を次世代に引き継ぎ、世界に冠たる保健医療システムを保持・発展させるためには、効率的で質の高い医療提供を進める等、継続的な努力を怠ってはならないと考えます。

このような中において、柔道整復は、伝統的な医療として永く社会に受け入れられ、国民の健康の保持に大きく寄与してこられました。

また、こうした時代の要請に対応できるよう、これまで以上に高い資質の柔道整復師の養成が求められており、平成30年4月より、新たな柔道整復師学校養成施設カリキュラムによる教育が始まっております。

こうした取組を通じて、高い資質を持った柔道整復師が養成され、良質な施術が提供されることを期待しています。

柔道整復師である皆様方が、自己研鑽を重ね、これまで以上にその真価を発揮されていくことを期待するとともに、本大会に参加される選手の皆様方には、日頃の練習の成果を十分に発揮されることを期待しています。

最後に、公益社団法人日本柔道整復師会のご発展と、お集まりの皆様方のご健勝、ご活躍を祈念して、お祝いの言葉といたします。



祝 辞

文部科学大臣

萩生田 光 一

文部科学大臣杯争奪第28回日整全国少年柔道大会及び第9回日整全国少年柔道形競技会が、全国から多数の参加者を得て、柔道の聖地であるここ講道館で盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。

全国各地の厳しい予選を勝ち抜き、晴れて都道府県の代表として出場される選手の皆さん、誠におめでとうございます。これは、皆さんが日々真剣に柔道に取り組み、厳しい稽古を積み重ねた成果であるとともに、周りの指導者、御家族の支援の賜物です。応援してくれている方々への感謝の気持ちを胸に存分に力を発揮してください。

文部科学省では、生活の中に自然とスポーツが取り込まれている「スポーツ・イン・ライフ」という姿を目指し、スポーツを通じた健康増進や子供の体力向上といった施策に取り組んでいます。このような中、皆さんのように柔道を通じたスポーツの習慣を身に付けられていることは、生涯にわたる豊かなスポーツライフの基礎を構築する上で大変有意義なことです。

選手の皆さん、全国から集まった仲間との交流を大いに深め、楽しい思い出をたくさん作ってください。そして本大会が、皆さんの今後の人生における大きな財産となることを期待しております。

結びに、伝統ある本大会の開催、運営に御尽力されました公益社団法人日本柔道整復師会をはじめ、関係の皆様方に心から敬意を表しますとともに、本大会の御成功を祈念して、お祝いの言葉といたします。

日整全国少年柔道大会
日整全国少年柔道形競技会
日整全国柔道大会
全国柔道整復師高段者大会

次第

開 会

- 1 役員選手整列
- 1 国歌斉唱
- 1 開会宣言
- 1 会長挨拶
- 1 来賓祝辞、来賓紹介
- 1 優勝杯(旗)、準優勝杯返還等
- 1 試合場の注意
- 1 選手宣誓

形競技・柔道試合 等

- 1 団体トーナメント試合(少年柔道)
- 1 全国柔道整復師高段者大会
- 1 団体トーナメント試合(会員柔道)
- 1 健康柔(やわら)体操
- 1 形競技会(少年形)
- 1 表彰(少年柔道)
- 1 表彰(少年形)
- 1 世界形選手権大会チャンピオン「固の形」演武

閉 会

- 1 表彰(会員柔道)
- 1 講評
- 1 閉会宣言
- 1 役員選手退場

第28回日整全国少年柔道大会
 第9回日整全国少年柔道形競技会
 第43回日整全国柔道大会
 令和元年全国柔道整復師高段者大会

タイムスケジュール

	7F 大道場	6F 道場
7:30	開場	
8:05	優秀選手、フェアプレー賞選考委員会議	(少年柔道・会員柔道)審判員・監督会議 (少年形)監督会議
8:30	少年柔道大会 ・ 少年柔道形競技会 開会 ・選手整列 ・国歌斉唱 ・開会宣言 ・会長挨拶 ・来賓祝辞、来賓紹介 ・優勝杯、準優勝杯返還等 ・試合上の注意 ・選手宣誓 (代表：少年柔道出場選手から) ・選手退場	
9:20	少年柔道大会 試合開始 1回戦～準々決勝 ※第1～4試合場で実施	9:30～11:00 全国柔道整復師高段者大会
12:20	少年柔道大会 準決勝 ※第1・3試合場	12:20～12:30 会員柔道大会 開会 ・優勝旗、準優勝杯返還、表彰ほか
12:35	健康柔(やわら)体操	12:30～
12:50	少年柔道大会 決勝 ※第1試合場で実施	会員柔道大会 1回戦 ※準々決勝(2回戦)から
13:10	少年柔道形競技会 競技会開始 予選 ※第1～4試合場	
14:00	少年柔道大会 表彰 ・1位から3位、優秀選手	
14:10	少年柔道形競技会 決勝 ※第1試合場で実施	7F大道場で試合
14:40	会員柔道大会 準々決勝(2回戦) ※第1～4試合場	
15:10	少年柔道形競技会 表彰 ・1位から4位	
15:20	会員柔道大会 準決勝 ※第1・3試合場	
15:50	世界形選手権大会チャンピオン「固の形」演武	
16:00	会員柔道大会 決勝 ※第1試合場	
16:30	会員柔道大会 閉会式・表彰 ・1位から3位、優秀選手 ・講評 ・閉会宣言	
16:50	終了	

※赤字：日整全国少年柔道大会 青字：日整全国少年柔道形競技会 緑字：日整全国柔道大会
 紫字：全国柔道整復師高段者大会

大会役員

(敬称略・順不同)

大会名誉会長	上村春樹	山下泰裕	
大会顧問	鳥海又五郎 市毛繁実	村雲克典 萩原正	谷口和彦
大会相談役	反町健二郎 木山時雨	山口綱孝	沢田守
大会会長	工藤鉄男		
大会副会長	萩原正和	松岡保	
大会参与	三橋裕之 伊藤宣人 長尾淳彦 伊藤述史 徳山健司 森川伸治	市川善章 豊嶋良一 川口貴弘 山崎邦生 齊藤勝典 嶋谷清	石原誠二 富永敬二 渡邊寛 和田秀樹 田村清夫 高橋政夫

大韓民国柔道連盟杯

日本柔道整復師会は、大韓武道学会などで毎年発表し、柔道整復術並びに柔道を通じて友好関係を構築してきました。その友好の証として大韓民国柔道連盟会長 金正幸龍仁大学総長より日整全国少年柔道大会と日整全国柔道大会に対して大韓民国柔道連盟杯を平成11年に寄贈していただきました。

モンゴル国友好杯

日本柔道整復師会は、外務省の日本NGO支援無償資金協力「日本伝統治療(柔道整復術)普及事業」において、モンゴル国での医師卒後研修による人材育成に協力しておりますが、その協力の証としてモンゴル国より日整全国少年柔道大会と日整全国柔道大会にモンゴル国友好杯を寄贈していただきました。

参 与

(敬称略・順不同)

幸学人章一生弘進等悦毅光義邦昭男博教幸一弥道磨郎晃正男敏夫明晃雄二宏史美男邦秀人史弘朝司史秀光夫隆政
 敏 義裕敏道 鋼 啓眞英重三 光佳紘欽尚 道 訓次久敏義 光裕 高益英義和 啓勝正仁清義俊哲昌光
 坂藤村川田原井野本川岸木田藤村田畑田本下本藤川野崎山橋澤藤原村澤井口子村本川部 江施本村本橋松本良
 小加西石前見櫻水橋荒山八石尾中江大鎌橋松寺齊及鹿山高八相竹江大河木田新浜金吉堂藤服林相布阪岡藤高重杉平
 治巧亨親司志盛洋平男利彦勉二郎夫郎三隆隆和一肇信二治環一夫司作久美吾公明彦努幸宣夢明二章幸輔治郎明
 洋高 重喜^代裕豐西 八國治邦 榮傳^一和健^太松芳 正金 利良幸 英富隆幸武正省 久剛 芳宗^時何英謙正弘泰榮^一惠博
 井川澤 田本澤木田矢村川江田部原藤田田田原 藤井江池本藤上代瀬田藤室田村木谷木 田藤井定本藤本田田
 倉小長辻中松寺佐^々增大門齋相上磯栗伊石柳黒萩原佐宇中小岡佐村田柏吉齋大吉北柏二^ッ鈴筧柴尾増成森加宮村太園
 建生行治康明德好弘廣彦雄喜夫勉久輝典晴一久雄平之昇信由也之二浩則昭企雄利彦優一雄宏章夫志男磨介郎已均
 道志良 高清喜明幸康郁重貴 和豐明稔洋官春公富 和 卓寿祥雅知 昌健和正 喜岩忠昌靖厚澄琢健^八平利
 川 木山石下村村浦木浦山増村部本 坂間田田條羽山本藤田澤藤岡澤橋岡我井野井合澤川科田口森原達川川本口
 市英高村大森木野松鈴井青富西阿岡林野佐^久清永西前内橋加池芦遠片深高山曾櫻狩酒河小早仁岸川藤藤伊大小楠橋
 之彦夫廣二雄康進登孝一行雄宏博義正一重了幸榮直直昭照郎裕俊進祐民一郎之雄保司由治郎伸進信樹良伸也明生
 廣彰一 康壽晴 一洋昌光宣 正行隆政稔義共 忠芳伸^一英 研一精満伸茂 治弘拓博 秀秀尚敏哲博開
 内崎山宮井原田川谷元合美崎山柳代木子村島留林林口藤本岡田毛中澤辺橋谷井子田場下林江田本野場藤高川崎須
 池杉向高白栗室藤梶山小宇^佐高丸小網鈴砂西西吉若竹洞大岩龜櫻稻眞原渡高苺深金高稻宮小杉米藤永馬近神塩江奈

(歸一精鍊賞受賞者・歸一功勞賞受賞者・代議員)

第28回日整全国少年柔道大会
 第9回日整全国少年柔道形競技会
 第43回日整全国柔道大会
 令和元年全国柔道整復師高段者大会

審判員名簿

(敬称略・順不同)

審判長 鮫島元成

審判係 木目沢 哲 哉

氏名	出場地区	氏名	出場地区
筒井寛幸	北海道	荻野義之	埼玉県
成田正人	東北	妹尾徹	千葉県
藤川進	北関東	加藤学	神奈川県
渡邊易彦	中関東	渡辺直也	山梨県
大友隆雄	南関東	木目沢哲哉	東京都
寶田健	東京	小倉茂	講道館
中川裕之	北信越東部	井上智和	講道館
川口稔	北信越西部	藤崎満	千葉県
一瀬誠	東海東部	吉田秀之輔	千葉県
日下部正樹	東海西部	室田次朗	神奈川県
吉田新吾	大阪	車耕一	神奈川県
坊晃	近畿	松崎勝美	神奈川県
塚崎康之	中国	清水泰平	神奈川県
沖秀和	四国	吉田敦	東京都
坂本敏宏	九州	梶屋富治郎	東京都
雨谷紀雄	茨城県	廣瀬雅人	東京都
市川建	栃木県	仁平正洋	東京都
嶋村和彦	群馬県	井上恭夫	東京都

柔道審判担当表

(○印は主任)

第1試合場	第2試合場	第3試合場	第4試合場
○藤川進	○渡邊易彦	○大友隆雄	○寶田健
筒井寛幸	室田次朗	小倉茂	仁平正洋
井上智和	坂本敏宏	塚崎康之	藤崎満
○吉田新吾	○日下部正樹	○一瀬誠	○川口稔
加藤学	廣瀬雅人	松崎勝美	成田正人
吉田秀之輔	中川裕之	渡辺直也	清水泰平
○雨谷紀雄	○市川建	○木目沢哲哉	○荻野義之
吉田敦	井上恭夫	嶋村和彦	梶屋富治郎
坊晃	車耕一	妹尾徹	沖秀和

形審査・高段者大会審判 担当表

福島美智男	宗義明	宇津木俊博	道場良久
山本三四郎	眞喜志慶治	下山陽邦	鮫島康太

柔道試合場担当主任

第1試合場	第2試合場	第3試合場	第4試合場
梅本彰吾	山崎慎也	小館智治	綿引徹
6A試合場	6B試合場		
山崎陽介	田代優樹		

第28回日整全国少年柔道大会
 第9回日整全国少年柔道形競技会
 第43回日整全国柔道大会
 令和元年全国柔道整復師高段者大会

〈敬称略・順不同〉◎責任者 ○主任

㊦トランシーバー携帯

大会委員長	豊嶋 良一(宮城県)			
大会副委員長	和田 秀樹(神奈川県) [㊦]	徳山 健司(大阪府)		
大会委員	竹藤 敏夫(茨城県)	片岡 祥二(栃木県)	原澤 研祐(群馬県)	
	大河原 晃(埼玉県)	木村 光雄(千葉県)	齋藤 武久(神奈川県)	
	大室 正美(山梨県)	新井 宏(東京都)		
審判長・形審査員長	鮫島 元成			
大会顧問医	市毛 繁実			

優秀選手・フェアプレー賞選考委員

委員長	◎竹藤 敏夫(茨城県)			
委員	○片岡 祥二(栃木県)	○原澤 研祐(群馬県)	○齋藤 武久(神奈川県)	
	○大室 正美(山梨県)			
事業運営部	◎豊嶋 良一(宮城県)	○和田 秀樹(神奈川県)	○徳山 健司(大阪府)	
	○鈴木 努(静岡県)	○浜口 高史(東京都) [㊦]		
進行係	○真中 進(茨城県)	○一ツ柳 明(茨城県)		
放送係	○塩部 泰(東京都)	山根 孝之(東京都)		
式典係	◎徳山 健司(大阪府)	○深澤 雅浩(群馬県)	大河原 晃(埼玉県)	
	田中 重憲(千葉県)	岡野 高義(千葉県)	大庭 学(東京都)	
経理係	◎石原 誠(香川県)			
競技部	徳原 勉 <small>(足立学園高等学校教員)</small>	篠岡 慶昂 <small>(足立学園高等学校教員)</small>		
	○曾我 昌企(神奈川県) [㊦]	松田 卓也(東京都)	学生	
第1試合会場	○梅本 彰吾(神奈川県)			
第2試合会場	○山崎 慎也(神奈川県)			
第3試合会場	○小館 智治(神奈川県)			
第4試合会場	○綿引 徹(茨城県)			
6階試合会場	○山崎 陽介(神奈川県)	○田代 優樹(神奈川県)		
会場係	○篠 弘樹(東京都)	中山 隆喜(東京都)	田村 大(東京都)	
選手係	○高石 達也(東京都)	野崎 洋(東京都)		
救護係	市毛 雅之(東京都)	藤田 哲郎(東京都)		
審判部	◎鈴木 努(静岡県)			
渉外部	◎富永 敬二(佐賀県)			
記録係	◎齋藤 勝典(山形県)	◎田村 清(群馬県)	田澤 裕二(神奈川県)	
写真係	◎山田 俊志(石川県)	宮下 治由(福井県)	小澤 喜一(静岡県)	
	竹内 康(愛知県)			
接待部	◎伊藤 述史(東京都)			
	○新井 宏(東京都) [㊦]	○狩野 和利(東京都)		
受付係	○金子 茂雄(東京都) [㊦]	山崎 臣樹(東京都)		
1階	○有馬 宏昌(東京都) [㊦]	小池 勉(東京都)	金内 一(東京都)	
4階	◎深井 伸之(東京都) [㊦]	○吉田 省吾(東京都)	長尾 慎一(東京都)	
7階	○櫻井 健雄(東京都)	小倉 弘之(東京都)		
8階	○小林 弘和(東京都) [㊦]	田中 正信(東京都)		
形競技係	◎山岡 昭(千葉県)			
	古山 利幸(千葉県)	齋藤 和成(千葉県)	照沼 亨(千葉県)	
	杉村 恭司(東京都)			
健康柔(やわら)体操係	粕谷 泰右(東京都)			

文部科学大臣杯争奪

第28回日整全国少年柔道大会実施要項

- 1.日 時 令和元年10月14日（月・体育の日） 午前7時30分開場
午前8時30分開会
- 2.会 場 〒112-0003 東京都文京区春日1-16-30 講道館大道場（7階）
電 話 03-3818-4171
- 3.趣 旨 柔道を通じて、少年少女の健全なる心身の育成に努めると共に、参加者相互の親睦ならびに柔道整復師に対する理解を深め、柔道の発展に寄与することを目的とする。
- 4.主 催 公益社団法人日本柔道整復師会
〒110-0007 東京都台東区上野公園16-9
電 話 03-3821-3511 F A X 03-3822-2475
<http://www.shadan-nissei.or.jp/>
- 5.後 援 スポーツ庁、厚生労働省、東京都、公益財団法人講道館、
公益財団法人全日本柔道連盟、公益財団法人東京都柔道連盟、産経新聞社
- 6.協 賛 公益社団法人全国柔道整復学校協会、公益財団法人柔道整復研修試験財団、
一般社団法人日本柔道整復接骨医学会、日本柔道整復師協同組合
- 7.主 管 日本柔道整復師会 関東ブロック会・東京ブロック会
- 8.参加資格 各都道府県より1チーム ただし、開催地は2チームの計48チーム。
(監督と出場選手は、全日本柔道連盟登録済みであること。)
- 9.選手団 (1)構 成 監督1名(日整会員に限らない) 選手5名
(2)選手選考方法 自由とする。
(3)選手内容 小学4年生1名
小学5年生2名
小学6年生2名 計5名
(4)国籍、男女を問わない、学齢適齢であること。該当学年に欠員の場合は下位学年で補う。ただし、3年生以下は参加を認めない。
(5)学年順・軽量から順番に先鋒より配列のこと。
(6)補欠は認めない。
(7)選手交代は開会式前までに監督が選手係に申し出ることにより認める。
試合開始後の変更は、負傷者が出た場合でも認めない。
- 10.試 合 (1)団体トーナメント方式とする。
(2)「国際柔道連盟試合審判規定(2017-2020)」、「少年大会特別規定」による。
(3)勝敗の決定方法は「一本」「技有」「僅差」*の3種類とし、それに満たない場合は「引き分け」とする。
*「僅差」とは、双方の選手間に技による評価(技有)がない、又は同等の場合、「指導」差が2以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。
1差であれば「引き分け」とする。
(「指導」数によって勝敗が決する例=0対2)
(「指導」数に差が出て引き分けになる例=0対1、1対2)
(4)本大会では十分な試合場の広さが確保できないため、選手の体が、床・机・椅子・掲示版等に触れた場合は、「待て」をかけるものとする。

- (5)試合時間は2分間とする。
- (6)同点の場合は、内容によって勝敗を決する。
内容も同じ場合は、任意選手による代表戦（2分間、ゴールデンスコアの方式をとらない）を1回行い必ず勝敗を決する。
- (7)内股、払腰等の技を掛けるか、または掛けようとしながら、身体を前方へ低くまげ、頭から畳に突っ込むこと、また、立ち姿勢または膝をついた姿勢から、肩車のような技を掛けながら、あるいは掛けようとしながら、まっすぐ後方に倒れることにより、直接「反則負け」となった場合は、頸椎などに異常が生じている可能性があるため、その後の一連の試合には出場できない。
- (8)試合場は32畳（赤畳の中）とする。
- (9)不測の事態が生じた場合の処置は、審判長に一任する。

11.会 議
12.表 彰

- 審判員、監督会議は大会当日行う。
- (1)優勝チームには文部科学大臣賞状並びに文部科学大臣杯を授与し、前年度優勝チームには文部科学大臣杯レプリカを授与する。
- (2)優勝・準優勝・第三位(2チーム)を表彰し、第五位入賞チーム(4チーム)は、敢闘賞を授与する。
- (3)優秀選手5名を表彰する。
- (4)試合マナーの優良なるチームにフェアプレー賞を授与する。(4チーム)
- (5)出場チーム全員に参加賞を授与する。

13.申し込み

- (1)申し込みは所定の書類により日本柔道整復師会宛に申し込むこと。
- (2)出場申込書には、所属都道府県柔道整復師会会長の承認印を必要とする。
- (3)参加選手は、保護者の参加承認書を申し込み時に必ず提出のこと。なお、保護者は参加選手の大会出場にあたり、事前に医師の健康診断を受けさせ、異常(試合の出場に支障)がないことを確認しておくこと。
- (4)各チームの集合写真を申し込み時に提出のこと。(17.集合写真 参照)
- (5)申し込み締切日は8月末日必着とする。(申込書はエクセルファイル、原本どちらも必要)

※申込書Excelファイルのデータ提出：jigyo@shadan-nissei.or.jp(日本柔道整復師会 事業運営部宛)

14.交 通 費

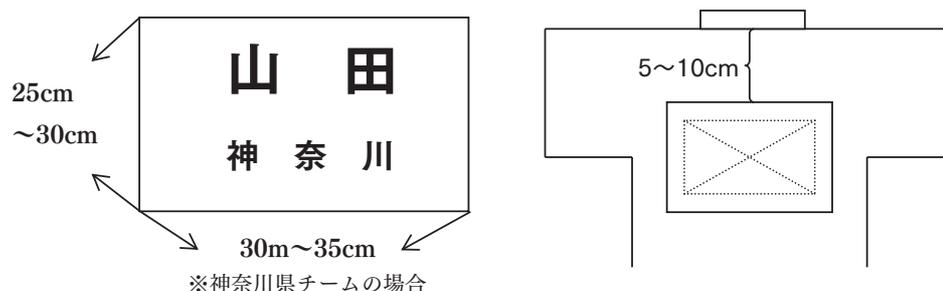
選手団の交通費は、各都道府県社団所在地の最寄JR駅より東京都区内までの往復普通運賃および特急料金を主催者負担とする。ただし、北海道、四国、九州の各県は往復航空料金とする。

15.宿 泊

- (1)宿泊費は各都道府県チームの負担とする。
- (2)宿泊は要請があれば主催者側で宿泊所を紹介する。

16.ゼッケン

出場選手は、必ずゼッケンを縫い付けた柔道衣を着用のこと。

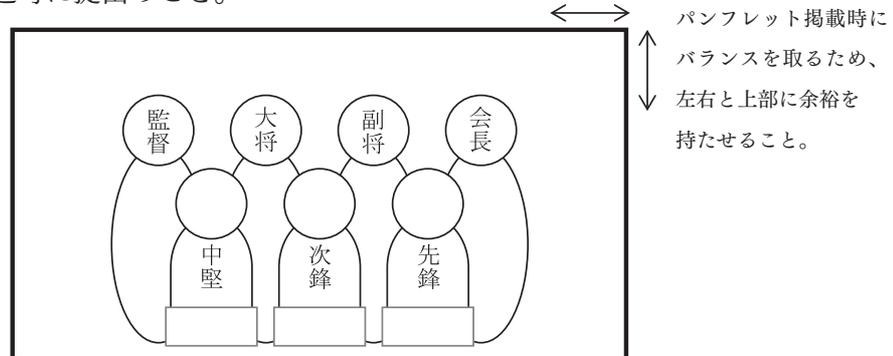


- (1)布地は白地(晒・太綾)で書体は太いゴシックまたは明朝体とし、男子は黒字、女子は濃赤字。

- (2)サイズは縦25～30 cm、横30～35cm。
- (3)苗字(姓)は上側 2/3、所属の都道府県名は下側 1/3。
- (4)縫い付けの場所は後ろ襟から 5～10cm、対角線にも強い糸で縫い付けること。

17.集合写真

申込時に提出のこと。



- (1)選手は柔道着を着用。
- (2)並びは左から、後列立位：監督、大将、副将、都道府県会長、前列正座：中堅、次鋒、先鋒 の順。（膝から上を撮影）
- (3)3 MB以上のJPG データで提出のこと。

18.特記事項

- (1)本大会では「試合場におけるコーチの振る舞いについて」および「脳震盪対応について」平成24年4月1日付け全日本柔道連盟通達(別添参照)を適用する。なお、大会当日、「選手規程に関わる報告書(脳震盪対応について)」を提出のこと。
- (2)皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行なうこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

19.その他

- (1)参加者全員の傷害保険は主催者負担とする。
- (2)試合当日は健康保険証を持参すること。(写でも可)
- (3)負傷した者は直ちに大会救護係へ報告し、大会顧問医の診察を受け報告書を提出すること。
- (4)当日大会で負傷して、やむを得ず病院等に搬送した場合、初診時費用は主催者の日本柔道整復師会負担とする。この報告書の提出なき者は、すべて自己負担とする。大会終了後は受け付けない。
- (5)出場者は、所管の教育委員会または在学校長等の承認および許可が必要となる場合があるので、遺漏のないようにすること。
- (6)審判員および委員係員など当会業務として本大会に招聘された者は、本会規定に基づく役員に準ずる者(本会が役員に準ずる者として招聘した者)としての鉄道賃の額を支給する。

20.個人情報、肖像権の取り扱いについて

参加申込用紙に記載された個人情報は、参加申込用紙の提出により、下記取り扱いについての承諾をしたものとする。

- (1)大会中に撮影された写真、動画が大会プログラム、大会ホームページに掲載される場合がある。
- (2)報道機関等により、新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合がある。
- (3)提出された個人情報については、上記目的以外に使用しない。

試合場におけるコーチの振る舞いについて

平成24年4月1日
公益財団法人全日本柔道連盟

コーチの役割

1. コーチは、選手への様々な状況における指示、戦術的なアドバイス、怪我の対応など、選手とのコミュニケーションを取ることを目的とする。
2. コーチは、自身の選手が大会会場に入場してから退出するまでの間、選手の行動に責任を持たなければならない。

コーチの場所

1. 原則として各試合場の正面と反対側、あるいは試合場の横側に、コーチ1名のみ入ることが許され、用意された椅子に着席しなければならない。
2. 伝統的にコーチを認めていない大会（全日本選手権大会など）においては、主催者の判断による。

コーチの言動

1. 試合が止まっている間（「待て」から「始め」の間）のみ、選手に対して指示を与えることができる。試合続行中は、選手に対して指示を与えることが許されない。
2. 次の行為を禁止する。
 - (ア) 試合が進行している最中に指示を出すこと。また、試合中に立ち上がること。
 - (イ) 審判員の判定に対し、コメントや批判、或いは訂正を要求すること。
 - (ウ) 対戦相手、審判員、役員、一般客、および自分自身の選手を侮辱するような行為
 - (エ) 広告看板や器具に触ったり、殴ったり、蹴ったりすること。
 - (オ) その他、柔道精神に反する行為
3. 原則として、コーチは審判員に準じた服装とし、IDカードを付けるものとする。

罰 則

上記に違反した場合は、下記による処分を科するものとする。

1. 1回目は、審判員が合議の上、口頭による注意をする。
2. 1回目の注意で改善されない場合は、審判員が大会委員長または審判長に報告の上、大会委員長または審判長の責任のもとにその試合が終了するまで試合場フロアの外へ退去させる。但し、試合はその後も続行するものとする。
3. 次の試合からは、またコーチ席に座ることができるが、その後も改善が見られない場合は、その大会期間を通して試合場フロアへの入場を禁止する場合もある。

脳震盪対応について

ジュニア（20歳未満）以下の大会要項に下記条項に追加する。

選手および指導者は下記事項を遵守すること。

1. 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診断を受け、出場の許可を得ること。
2. 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。（なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。）
3. 練習再開に関しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
4. 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

第28回日整全国少年柔道大会 出場者一覧

北 海 道							青 森 県						
													
監 督 山 下 徹							監 督 種 市 清 孝						
	氏 名	学年	身長	体重	生年月日	性別		氏 名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	木幡斗吾	6	159	96	H19.5.29	男	大将	佐々木泰心	6	163	95	H19.9.29	男
副将	夏坂匠平	6	147	48	H19.9.14	男	副将	對馬舜	6	165	60	H19.10.17	男
中堅	齋藤日菜乃	5	146	45	H20.6.4	女	中堅	三橋虎生	5	155	58	H20.5.29	男
次鋒	南原青空	5	140	38	H20.6.28	女	次鋒	前田達徳	5	135	40	H20.7.11	男
先鋒	大宮果林	4	148	54	H21.10.15	女	先鋒	佐藤慧珠	4	143	65	H21.4.22	男
岩 手 県							宮 城 県						
													
監 督 久 松 尚 也							監 督 阿 部 義 弘						
	氏 名	学年	身長	体重	生年月日	性別		氏 名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	小屋畑悠介	6	162	63	H20.1.26	男	大将	新沼信之介	6	150	50	H20.2.15	男
副将	勝田莉央	6	152	61	H19.11.4	男	副将	日野優心	6	150	48	H20.1.30	男
中堅	田名部心音	5	141	40	H20.6.20	女	中堅	鈴木 菜	5	155	69	H20.4.28	男
次鋒	松坂侑侑	5	148	39	H20.4.10	男	次鋒	佐藤虎太郎	5	150	64	H20.8.29	男
先鋒	日向琉稀	4	143	55	H21.8.6	男	先鋒	菊地咲笑	4	135	38	H21.9.24	女
秋 田 県							山 形 県						
													
監 督 山 中 晶 史							監 督 武 田 吉 和						
	氏 名	学年	身長	体重	生年月日	性別		氏 名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	佐藤陽奏太	6	178	106	H19.6.11	男	大将	穴澤和仁	6	158	70	H19.4.2	男
副将	伊藤志竜	6	171	82	H19.7.12	男	副将	土屋祐駿	6	151	44	H19.6.8	男
中堅	畠山 彪	5	144	54	H20.11.14	男	中堅	松田太陽	5	150	69	H20.11.28	男
次鋒	浜野敬信	5	145	44	H20.6.17	男	次鋒	梅津的居	5	150	43	H20.7.7	男
先鋒	吉元孝太郎	4	147	65	H21.6.10	男	先鋒	石川騰治	4	142	54	H21.9.10	男

福島県							茨城県						
													
監督 青柳 匡							監督 松岡 峰夫						
	氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別		氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	後藤 篤人	6	150	51	H19.4.26	男	大将	水井 健介	6	147	61	H19.5.24	男
副将	吉田 茜心	6	148	46	H20.1.2	女	副将	秋田 蔵之介	6	158	59	H19.9.10	男
中堅	上村 徠斗	5	158	90	H20.8.12	男	中堅	佐藤 響希	5	160	70	H20.4.13	男
次鋒	小川 大和	5	155	60	H20.8.15	男	次鋒	高山 野心	5	166	63	H20.7.27	男
先鋒	木幡 結翔	4	150	65	H21.6.12	男	先鋒	山崎 悠生	4	142	52	H21.6.11	男
栃木県							群馬県						
													
監督 吉澤 賢二							監督 渡辺 良行						
	氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別		氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	高橋 梨子	6	157	85	H19.8.13	女	大将	齋藤 貫太	6	158	60	H19.8.15	男
副将	水野 雅南	6	157	77	H20.1.31	男	副将	澁谷 優寿朗	6	140	33	H19.9.24	男
中堅	藤崎 快晴	5	152	65	H20.4.16	男	中堅	嘉山 幸太郎	5	152	65	H20.11.13	男
次鋒	中村 豪	5	160	57	H20.7.4	男	次鋒	佐野 凌助	5	150	50	H21.3.20	男
先鋒	津田 春樹	4	139	47	H21.5.5	男	先鋒	高橋 瑛士	4	131	30	H22.2.12	男
埼玉県							千葉県						
													
監督 寺沢 安夫							監督 杉崎 彰彦						
	氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別		氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	渡邊 蒼織	6	157	81	H19.7.15	男	大将	小川 皓太郎	6	157	70	H19.12.10	男
副将	伊藤 結樹	6	150	50	H19.4.6	男	副将	川端 惇仁	6	155	50	H19.10.3	男
中堅	吉本 大輝	5	143	79	H20.7.8	男	中堅	山内 清良	5	154	86	H21.2.4	男
次鋒	鈴木 大颯	5	138	42	H20.7.21	男	次鋒	久保 智暉	5	150	68	H20.4.23	男
先鋒	奥 悠晴	4	128	30	H21.10.8	男	先鋒	砂田 蓮音	4	146	65	H21.6.9	男

神奈川県									山梨県								
																	
監督 金井 一超									監督 芦澤 尚秀								
	氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別				氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別		
大将	長田 共平	6	167	75	H19.7.24	男	大将	渡邊 翔	6	140	65	H20.3.14	男				
副将	山口 賢哉	6	150	62	H19.5.18	男	副将	中山 惺太	6	160	56	H19.4.9	男				
中堅	北尾 季樹	5	153	60	H20.6.10	男	中堅	萱沼 優斗	5	151	47	H20.6.1	男				
次鋒	坂本 茉瑠久	5	145	50	H20.5.24	男	次鋒	梶原 煌介	5	143	45	H20.7.13	男				
先鋒	原田 竜惺	4	138	42	H21.8.2	男	先鋒	伊藤 勇武	4	136	36	H21.11.1	男				
東京都 A									東京都 B								
																	
監督 向井 幹博									監督 鈴木 康祐								
	氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別				氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別		
大将	黒沼 翼	6	163	65	平20.1.25	男	大将	發師 健翔	6	155	43	H19.6.8	男				
副将	太田 透真	6	151	56	平19.8.15	男	副将	村松 桜來	6	136	40	H20.3.31	女				
中堅	三浦 佳大	5	157	58	平20.4.9	男	中堅	橋本 辰幸	5	151	77	H20.7.3	男				
次鋒	塩崎 悠太	5	151	54	平20.11.13	男	次鋒	大澤 和弘	5	151	43	H20.10.6	男				
先鋒	藤井 心人	4	140	51	平21.7.20	男	先鋒	新井 統二郎	4	132	33	H21.8.13	男				
新潟県									長野県								
																	
監督 星野 力									監督 神農 来栄								
	氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別				氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別		
大将	騰川 雄喜	6	152	58	H19.11.8	男	大将	竹内 皓星	6	161	67	H19.5.30	男				
副将	山本 大翔	6	155	46	H19.11.19	男	副将	小島 匠士郎	6	154	59	H19.4.16	男				
中堅	桑田 哲平	5	148	41	H20.8.19	男	中堅	田中 未来人	5	152	73	H20.9.19	男				
次鋒	高地 凪	5	140	38	H20.4.27	男	次鋒	塩澤 晴	5	136	45	H20.5.8	男				
先鋒	青柳 周弥	4	150	50	H22.1.29	男	先鋒	新井 瑠心	4	137	33	H21.4.16	男				

富 山 県							石 川 県						
													
監 督 松 井 博 也							監 督 北 野 真 一						
	氏 名	学年	身長	体重	生年月日	性別		氏 名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大將	浦 上 敬 太	6	158	50	H19.8.8	男	大將	林 諒 太 朗	6	151	71	H19.9.14	男
副將	松 井 叶 望	6	154	44	H19.5.5	女	副將	水 道 愛 奈	6	150	61	H19.10.26	女
中堅	野 崎 廉	5	159	62	H20.8.16	男	中堅	水 道 啓 人	5	155	95	H20.11.30	男
次鋒	石 嶋 彰 人	5	150	60	H20.8.21	男	次鋒	山 森 陽 菜	5	140	50	H21.2.8	女
先鋒	古 澤 未 来	4	140	56	H21.5.21	女	先鋒	石 橋 慶 己	4	149	43	H21.4.5	男
福 井 県							静 岡 県						
													
監 督 山 本 幸 雄							監 督 赤 池 理						
	氏 名	学年	身長	体重	生年月日	性別		氏 名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大將	原 田 リ サ	6	157	58	H19.12.10	女	大將	川 合 遼	6	152	66	H19.6.27	男
副將	玉 木 大 心	6	162	57	H19.11.21	男	副將	高 田 樹	6	157	60	H19.8.1	女
中堅	西 岡 闕 志	5	143	49	H20.6.4	男	中堅	杉 本 晴 哉	5	143	56	H21.2.3	男
次鋒	木 津 寛 登	5	137	36	H20.6.2	男	次鋒	勝 又 美 涼	5	162	54	H20.7.3	女
先鋒	宮 郷 航 汰	4	140	56	H22.2.24	男	先鋒	星 谷 愛 彪	4	135	55	H22.3.29	男
愛 知 県							三 重 県						
													
監 督 羽 田 野 剛							監 督 古 市 博 己						
	氏 名	学年	身長	体重	生年月日	性別		氏 名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大將	西 村 和 真	6	158	103	H19.6.12	男	大將	田 中 蒼 人	6	150	45	H19.7.29	男
副將	黒 野 琢 磨	6	142	50	H19.7.25	男	副將	坂 山 凜	6	151	44	H19.9.16	女
中堅	山 口 楽 斗	5	147	57	H20.4.16	男	中堅	松 田 剛	5	142	42	H20.9.20	男
次鋒	諸 橋 琥 太郎	5	148	49	H20.6.18	男	次鋒	広 瀬 瑠 海	5	141	39	H20.12.14	男
先鋒	下 地 琉 仁	4	152	82	H21.4.27	男	先鋒	床 辺 羽 衣 香	4	142	40	H21.6.12	女

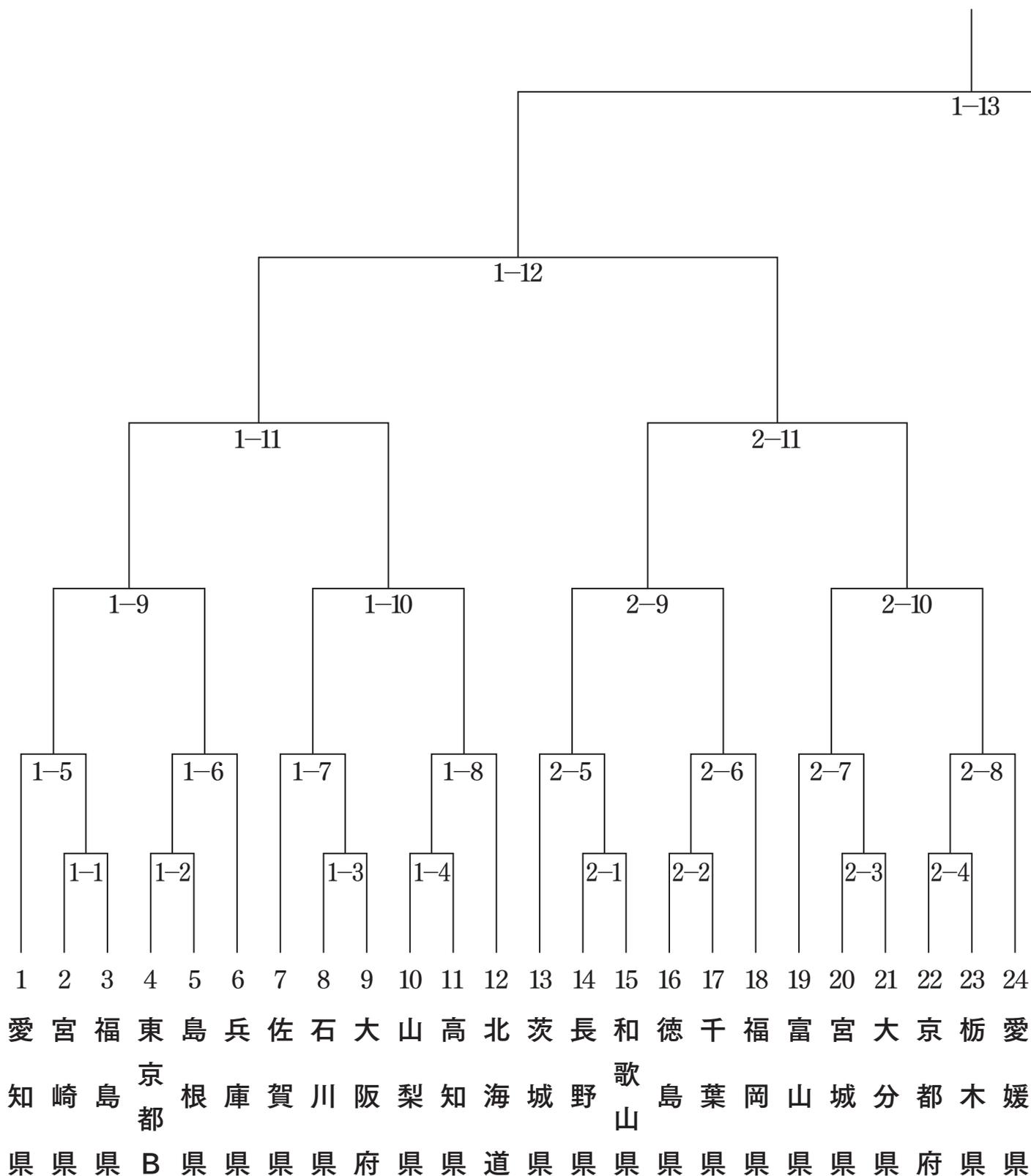
岐阜県								滋賀県							
															
監督 林 聖 治								監督 前田 剛 伸							
	氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別			氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別	
大将	堀川泰虎	6	164	70	H19.4.28	男	大将	時田開仁	6	154	66	H20.1.11	男		
副将	後藤洗樹	6	154	62	H19.6.3	男	副将	田内秀豊	6	153	48	H19.11.22	男		
中堅	春日琉伊	5	146	56	H20.8.19	男	中堅	平野賢心	5	141	50	H20.7.28	男		
次鋒	中村翼	5	165	51	H20.4.14	男	次鋒	中島武瑠	5	141	43	H20.9.11	男		
先鋒	河合惺	4	144	67	H21.9.29	男	先鋒	日出慧太郎	4	145	54	H21.7.1	男		
京都府								奈良県							
															
監督 兼田 旭 紘								監督 谷口 祐 次							
	氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別			氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別	
大将	池原 壮	6	161	103	H19.6.30	男	大将	中川行汰	6	157	69	H20.1.23	男		
副将	日垣 翔心	6	152	44	H19.6.20	男	副将	大井彩蓮	6	147	45	H19.5.5	女		
中堅	南崎 真己	5	144	52	H20.7.28	男	中堅	中川龍ノ助	5	141	58	H21.1.22	男		
次鋒	中西 大輝	5	145	42	H20.7.3	男	次鋒	池内涼樺	5	155	49	H20.6.24	女		
先鋒	北原 徹哉	4	142	49	H21.4.6	男	先鋒	藤中元氣	4	145	47	H21.5.1	男		
和歌山県								兵庫県							
															
監督 西岡 正 人								監督 川野 浩 司							
	氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別			氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別	
大将	中東 白	6	147	67	H19.7.12	男	大将	山内 煌	6	161	49	H19.5.3	男		
副将	北浦 巧大	6	158	48	H19.7.28	男	副将	濱田 遥樹	6	147	49	H19.8.12	男		
中堅	諏訪 宏智	5	143	57	H20.7.15	男	中堅	吉田 征矢	5	148	67	H20.5.2	男		
次鋒	西 輝	5	144	44	H20.8.11	男	次鋒	高橋 大輔	5	145	60	H21.3.22	男		
先鋒	高木 奏汰	4	132	38	H21.5.30	男	先鋒	大野 凱吏	4	148	63	H21.4.10	男		

大阪府							岡山県						
													
監督 山口 真一							監督 牧野 貴仁						
	氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別		氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	河田直人	6	166	110	H19.5.27	男	大将	千々和晃輝	6	160	69	H19.4.5	男
副将	根来大翔	6	174	100	H19.6.28	男	副将	鏡山悠磨	6	153	65	H19.4.2	男
中堅	松林清将	5	158	74	H20.8.26	男	中堅	松本明莉	5	155	77	H20.5.31	女
次鋒	嶋羽優人	5	150	63	H20.4.8	男	次鋒	坂本樹生	5	143	38	H20.6.9	男
先鋒	丹羽拓大	4	155	70	H21.7.27	男	先鋒	山口凌次郎	4	140	57	H21.4.19	男
鳥取県							島根県						
													
監督 堀人 裕之							監督 田中 勤						
	氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別		氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	大橋能智	6	161	75	H19.4.30	男	大将	曳野仁	6	167	80	H19.4.19	男
副将	萬井千奈美	6	158	58	H19.8.22	女	副将	坂田秀太	6	151	45	H19.6.15	男
中堅	内海篤朗	5	150	56	H20.8.19	男	中堅	大谷新太	5	146	48	H20.6.9	男
次鋒	石井晴菜	5	137	37	H20.9.4	男	次鋒	高橋祈生	5	133	35	H20.5.8	男
先鋒	高橋虎之介	4	135	35	H22.1.20	男	先鋒	池田大晴	4	138	38	H21.9.6	男
広島県							山口県						
													
監督 河野 誠							監督 若月 宏之						
	氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別		氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	宮下翔	6	167	119	H19.5.23	男	大将	弘中颯	6	159	90	H19.10.24	男
副将	栗栖孝明	6	168	65	H19.5.16	男	副将	柳井雄琉	6	157	63	H19.9.12	男
中堅	米澤直良	5	140	55	H20.4.5	男	中堅	阿部迪土	5	131	34	H21.1.24	男
次鋒	宝神陽	5	137	41	H20.6.5	男	次鋒	中平嵐士	5	133	33	H20.10.19	男
先鋒	吉田真太	4	147	39	H21.5.20	男	先鋒	竹下快成	4	141	36	H21.5.14	男

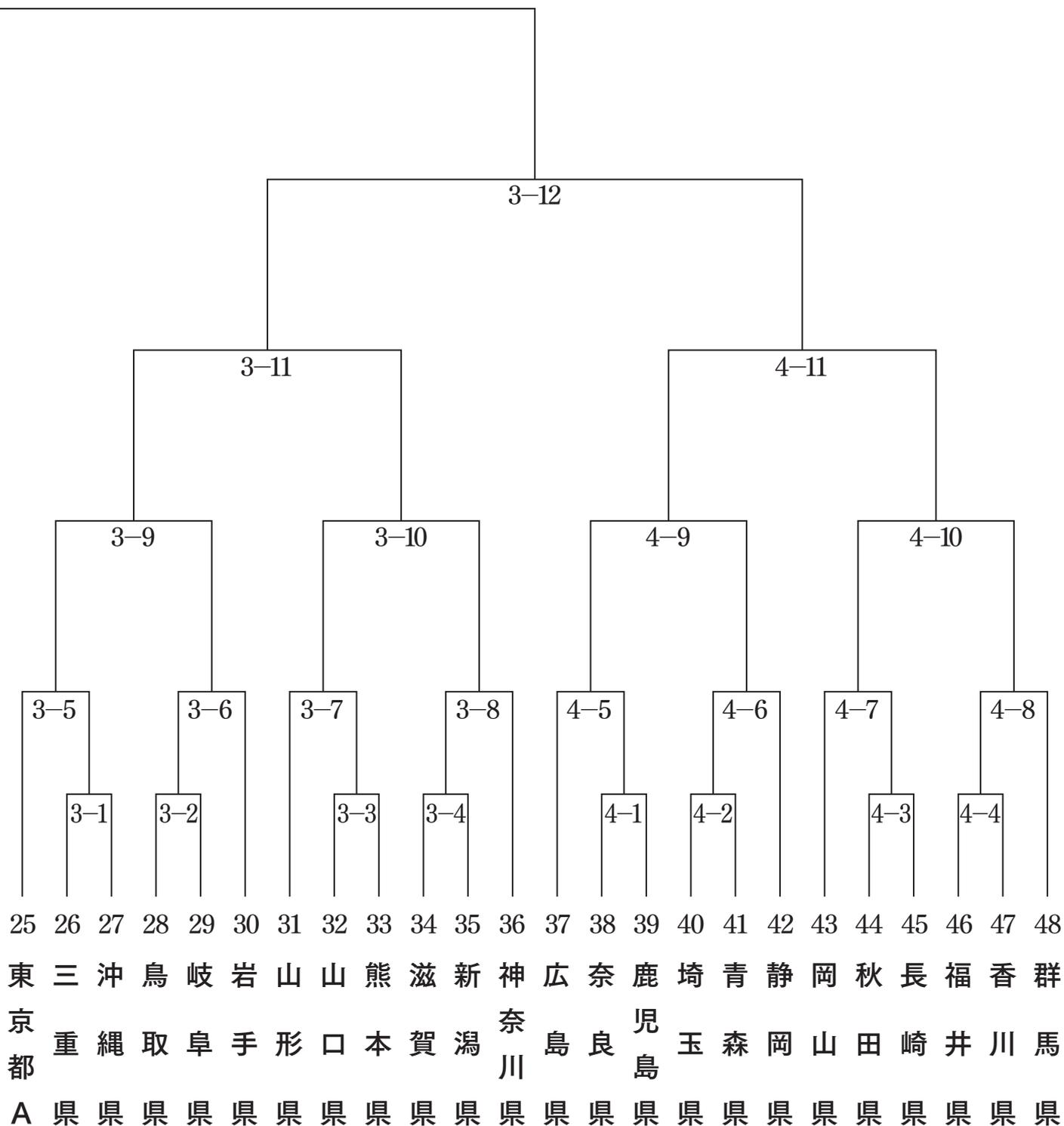
香 川 県								愛 媛 県							
															
監 督 松 本 孝 広								監 督 横 田 裕							
	氏 名	学年	身長	体重	生年月日	性別		氏 名	学年	身長	体重	生年月日	性別		
大将	亀 山 羽 玖	6	157	78	H19.10.7	男	大将	中 田 瑛 徠	6	167	68	H19.4.6	男		
副将	木 村 太 河	6	155	75	H19.6.6	男	副将	菅 野 駿	6	148	45	H19.6.11	男		
中堅	高 木 幌 平	5	157	75	H20.6.24	男	中堅	植 木 蓮 恩	5	146	52	H20.7.4	男		
次鋒	長 野 慎 大	5	154	70	H20.7.2	男	次鋒	植 木 聖 恩	5	147	51	H20.7.4	男		
先鋒	藤 間 大 和	4	138	32	H21.8.5	男	先鋒	宮 崎 斗 蒼	4	139	51	H21.5.3	男		
徳 島 県								高 知 県							
															
監 督 堀 敏 夫								監 督 竹 村 兆 史							
	氏 名	学年	身長	体重	生年月日	性別		氏 名	学年	身長	体重	生年月日	性別		
大将	鳥 海 悠	6	156	70	H19.5.8	男	大将	近 森 陸 斗	6	157	84	H19.9.13	男		
副将	三ツ石 恵 翔	6	159	50	H20.2.14	男	副将	岸 田 美 咲	6	155	62	H19.5.10	女		
中堅	平 木 大 護	5	155	82	H21.3.16	男	中堅	山 中 海 心	5	151	61	H20.7.2	男		
次鋒	藤 本 翔 湧	5	145	42	H20.9.16	男	次鋒	国 澤 天 晴	5	141	42	H20.12.15	男		
先鋒	近 藤 わかば	4	140	30	H21.10.28	女	先鋒	岡 林 大 翔	4	138	52	H21.12.16	男		
福 岡 県								大 分 県							
															
監 督 佐 藤 友 泰								監 督 永 竿 茂 男							
	氏 名	学年	身長	体重	生年月日	性別		氏 名	学年	身長	体重	生年月日	性別		
大将	平 田 智 輝	6	164	79	H19.7.26	男	大将	坂 口 怜 生	6	162	98	H19.11.13	男		
副将	白 垣 翔 雅	6	158	74	H19.9.16	男	副将	坪 井 馨	6	160	56	H19.6.21	男		
中堅	榎 本 誉	5	141	38	H20.10.24	男	中堅	工 藤 涉	5	140	60	H20.12.7	男		
次鋒	佐 藤 泰 貴	5	141	38	H20.5.11	男	次鋒	阿 部 桜 大	5	141	45	H20.12.7	男		
先鋒	白 垣 七 菜	4	143	48	H21.11.30	女	先鋒	植 山 栄 志	4	130	39	H21.4.24	男		

佐賀県								長崎県							
															
監督 古澤 均								監督 山本 浩 央							
	氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別		氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別		
大将	橋本海乃	6	143	53	H19.6.22	男	大将	馬場要	6	164	95	H19.9.29	男		
副将	田中拓実	6	140	39	H19.7.8	男	副将	中村一輝	6	155	77	H19.9.18	男		
中堅	磯野宏充	5	150	58	H20.4.8	男	中堅	竹内日向	5	148	66	H20.4.5	男		
次鋒	江口優菜	5	138	42	H20.5.17	女	次鋒	深江礼華	5	147	48	H20.5.3	女		
先鋒	黒木玲央	4	130	32	H21.9.14	男	先鋒	西山善次郎	4	139	34	H21.5.27	男		
熊本県								宮崎県							
															
監督 立石 勝也								監督 坂本 慎吾							
	氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別		氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別		
大将	鶴山海月	6	159	92	H19.6.22	男	大将	新藤聖也	6	155	81	H20.2.22	男		
副将	金井海広	6	161	80	H19.7.31	男	副将	鈴木叶太	6	143	50	H19.7.18	男		
中堅	江原優心	5	141	62	H20.11.22	男	中堅	太田龍周	5	155	108	H20.4.25	男		
次鋒	東大遼	5	142	57	H20.7.7	男	次鋒	稲毛歩夢	5	152	73	H21.2.2	男		
先鋒	堀田芯	4	146	60	H21.4.19	男	先鋒	松元聡亮	4	142	64	H21.5.4	男		
鹿児島県								沖縄県							
															
監督 中 浩一								監督 小橋川 幸作							
	氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別		氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別		
大将	外園海晴	6	155	75	H19.6.9	男	大将	渡久地奏汰	6	152	50	H19.5.14	男		
副将	原田亜莉斗	6	143	47	H19.7.10	男	副将	新垣友喜	6	151	49	H20.1.4	男		
中堅	五反田瑠聖	5	140	43	H20.8.30	男	中堅	大山日向	5	138	59	H20.7.11	男		
次鋒	中丸玲旺	5	145	37	H20.9.15	男	次鋒	吉門優真	5	145	51	H20.4.25	男		
先鋒	東琉海	4	147	52	H21.5.24	男	先鋒	桃原大	4	147	36	H21.4.27	男		

第28回日整全国少年柔道



大会トーナメント表



文部科学大臣杯争奪

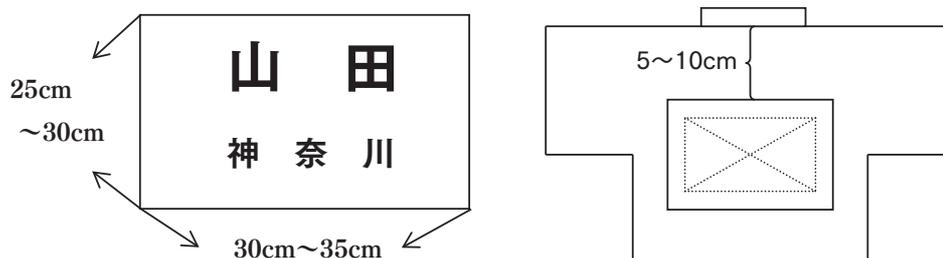
第9回日整全国少年柔道形競技会実施要項

- 1.日 時** 令和元年10月14日（月・体育の日） 午前7時30分開場
午前8時30分開会
- 2.会 場** 〒112-0003 東京都文京区春日1-16-30 講道館大道場（7階）
電 話 03-3818-4171
- 3.趣 旨** 嘉納治五郎師範は柔道稽古方法を「形」と「乱取」の二種に分類し、「形」は攻撃防禦に関しあらかじめ種々の場合を定め、理論に基づき身体の動きを規定し、その規定のごとく稽古すると教え、「乱取」とは一定の方法に抛らず、各自、勝手的手段を用いて稽古することであると教えられた。「投の形」は講道館柔道草創期の時代を背景として制定された古典である。少年少女柔道は試合優先主義、勝負一辺倒から技の理合いの原点を正しく理解、体得させることが極めて重要である。柔道を通じて、少年少女の健全なる心身の育成に努めると共に、参加者相互の親睦並びに、柔道整復師に対する理解を深め、柔道の発展に寄与することを目的とする。
- 4.主 催** 公益社団法人日本柔道整復師会
〒110-0007 東京都台東区上野公園16-9
電 話 03-3821-3511 F A X 03-3822-2475
<http://www.shadan-nissei.or.jp/>
- 5.後 援** スポーツ庁、厚生労働省、東京都、公益財団法人講道館、
公益財団法人全日本柔道連盟、公益財団法人東京都柔道連盟、産経新聞社
- 6.協 賛** 公益社団法人全国柔道整復学校協会、公益財団法人柔道整復研修試験財団、
一般社団法人日本柔道整復接骨医学会、日本柔道整復師協同組合
- 7.参加資格** 各地区（柔道ブロック）より予選を経て、計30チーム出場。
（監督と出場選手は、全日本柔道連盟登録済みであること。）

地 区	都道府県	出場チーム数
北 海 道	北海道	2
東 北	青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	3
北 関 東	栃木・群馬	2
中 関 東	茨城・埼玉・山梨	2
南 関 東	千葉・神奈川	2
東 京	東京	2
北信越東部	新潟・長野	1
北信越西部	富山・石川・福井	2
東 海 東 部	静岡・愛知	3
東 海 西 部	三重・岐阜	
近 畿	滋賀・京都・奈良・和歌山・兵庫	3
大 阪	大阪	3
中 国	岡山・鳥取・島根・広島・山口	1
四 国	香川・愛媛・徳島・高知	1
九 州	福岡・大分・佐賀・長崎・熊本・宮崎・鹿児島・沖縄	3

※同一都道府県複数チーム出場の場合のチーム名の例：大阪A、大阪B、大阪C

- 8.選手団 (1)構成 監督1名(日整会員に限らない) 選手2名
(2)選手選考方法 各地区で選出する。
(3)選手内容 小学生(4年生以上)
(4)国籍、男女を問わない、学齢適齢であること。
(5)選手交代は開会式前までに監督が選手係に申し出ることにより認める。
試合開始後の変更は、負傷者が出た場合でも認めない。
- 9.競技種目 投の形(手技・腰技・足技のみ)計9本
- 10.競技方法 (1)「講道館柔道形競技規定」により行う。
ただし、予選は下記のとおり行う。
①出場チームをA・B・C・Dの4ブロックに分ける。
②各ブロック上位1チーム(計4チーム)が決勝進出。
③予選の審査員は各2名。
④予選の得点は決勝に継承しない。
(2)その他、不測の事態が生じた場合の処置は、審査員長に一任する。
- 11.会議 監督会議は大会当日行う。
- 12.表彰 (1)優勝チームには文部科学大臣杯並びに優勝者には文部科学大臣賞状を授与し、前年度優勝チームには文部科学大臣杯レプリカを授与する。
(2)優勝・準優勝・第三位、第四位を表彰する。
(3)出場チーム全員に参加賞を授与する。
(4)入賞1チーム(原則、優勝チーム)は次年度5月5日開催の全国少年柔道大会において、形を演武する。(選手団の交通費および傷害保険は日整負担とする。)
- 13.審査員 審査員は、講道館指導部に依頼する。
- 14.申し込み (1)申し込みは所定の書類により日本柔道整復師会宛に申し込むこと。
(2)出場申込書には、所属都道府県柔道整復師会会長の承認印を必要とする。
(3)参加選手は、保護者の参加承認書を申し込み時に必ず提出のこと。なお、保護者は参加選手の大会出場にあたり、事前に医師の健康診断を受けさせ、異常(競技会の出場に支障)がないことを確認しておくこと。
(4)各チームの集合写真を申し込み時に提出のこと。(18.集合写真参照)
(5)申し込み締切日は8月末日必着とする。(申込書はエクセルファイル、原本どちらも必要)
※申込書 Excelファイルのデータ提出:jigyo@shadan-nissei.or.jp(日本柔道整復師会 事業運営部宛)
- 15.交通費 選手団の交通費は、各都道府県社団所在地の最寄JR駅より東京都区内までの往復普通運賃および特急料金を主催者負担とする。ただし、北海道、四国、九州の各県は往復航空料金とする。
- 16.宿泊 (1)宿泊費は各都道府県チームの負担とする。
(2)宿泊は要請があれば主催者側で宿泊所を紹介する。
- 17.ゼッケン 出場選手は、必ずゼッケンを縫い付けた柔道衣を着用のこと。

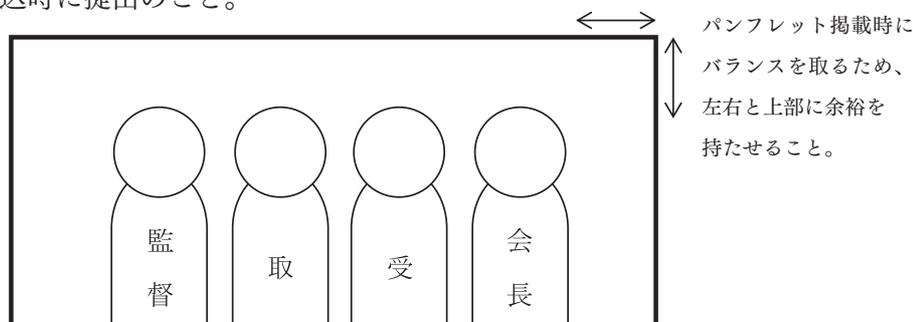


※南関東地区の神奈川県チームの場合

- (1)布地は白地(晒・太綾)で書体は太いゴシックまたは明朝体とし、男子は黒字、女子は濃赤字。
- (2)サイズは縦 25 ～ 30 cm、横 30 ～ 35cm。
- (3)苗字(姓)は上側 2/3、所属の都道府県名は下側 1/3。
- (4)縫い付けの場所は後ろ襟から 5 ～ 10 cm、対角線にも強い糸で縫い付けること。

18.集合写真

申込時に提出のこと。



- (1)選手は柔道着を着用。
- (2)並びは左から 監督、取、受、出場選手所属の都道府県会長の順。
- (3)立位、胸から上を撮影。
- (4)3 MB 以上の JPG データで提出のこと。

19.特記事項

- (1)本大会では「脳震盪対応について」平成 24 年 4 月 1 日付け全日本柔道連盟通達(別添参照)を適用する。
なお、大会当日、「選手規程に関わる報告書(脳震盪対応について)」を提出のこと。
- (2)皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行なうこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

20.その他

- (1)参加者全員の傷害保険は主催者負担とする。
- (2)競技会当日は健康保険証を持参すること。(写でも可)
- (3)負傷した者は直ちに大会救護係へ報告し、大会顧問医の診察を受け報告書を提出すること。
- (4)当日大会で負傷して、やむを得ず病院等に搬送した場合、初診時費用は主催者の日本柔道整復師会負担とする。この報告書の提出なき者は、すべて自己負担とする。大会終了後は受け付けない。
- (5)出場者は、所管の教育委員会または在学校長等の承認および許可が必要なところもあるので、遺漏のないようにすること。
- (6)審判員および委員係員など当会業務として本大会に招聘された者は、本会規定に基づく役員に準ずる者(本会が役員に準ずる者として招聘した者)としての鉄道賃の額を支給する。

21.個人情報、肖像権の取り扱いについて

参加申込用紙に記載された個人情報は、参加申込用紙の提出により、下記取り扱いについての承諾をしたものとする。

- (1)大会中に撮影された写真、動画が大会プログラム、大会ホームページに掲載される場合がある。
- (2)報道機関等により、新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合がある。
- (3)提出された個人情報については、上記目的以外に使用しない。

第9回日整全国少年柔道形競技会 競技順 予 選

Aブロック 第1試合場

順序	チーム	得点
1	京 都 府	
2	愛 媛 県	
3	佐 賀 県	
4	東 京 都 A	
5	兵 庫 県	
6	大 阪 府	
7	福 井 県	

Bブロック 第2試合場

順序	チーム	得点
1	石 川 県	
2	千 葉 県	
3	岐 阜 県	
4	北 海 道 B	
5	岡 山 県	
6	神 奈 川 県	
7	福 岡 県	

Cブロック 第3試合場

順序	チーム	得点
1	滋 賀 県	
2	愛 知 県	
3	山 梨 県	
4	青 森 県 B	
5	北 海 道 A	
6	埼 玉 県	
7	沖 縄 県	

Dブロック 第4試合場

順序	チーム	得点
1	山 形 県	
2	東 京 都 B	
3	新 潟 県	
4	栃 木 県	
5	群 馬 県	
6	静 岡 県	
7	青 森 県 A	

決 勝

第1試合場

順序	チーム	得 点
1		
2		
3		
4		

第9回日整全国少年柔道形競技会 出場者一覧

北海道 A						北海道 B					
											
監督 工藤 重孝						監督 中澤 伸一					
	氏名	学年	生年月日	性別		氏名	学年	生年月日	性別		
取受	山崎 優里	6	H19.12.28	女	取受	安田 彩心	6	H20.3.1	男	取受	
	金原 菜桜	6	H19.5.13	女		佐々木 李斗	4	H21.7.22	男		
青森県 A						青森県 B					
											
監督 高谷 明						監督 豊嶋 文武					
	氏名	学年	生年月日	性別		氏名	学年	生年月日	性別		
取受	猪股 柁吾	6	H19.12.20	男	取受	田戸岡 樹	6	H19.12.26	男	取受	
	鹿内 憲信	6	H19.8.23	男		豊嶋 大翔	6	H20.2.15	男		
山形県						栃木県					
											
監督 和田 一則						監督 櫻田 安孝					
	氏名	学年	生年月日	性別		氏名	学年	生年月日	性別		
取受	菊地 舞	6	H19.5.12	女	取受	手塚 美羽	6	H19.9.12	女	取受	
	海野 結菜	6	H19.5.2	女		村松 空斗	6	H19.8.7	男		
群馬県						埼玉県					
											
監督 小野塚 弘						監督 福嶋 幸志					
	氏名	学年	生年月日	性別		氏名	学年	生年月日	性別		
取受	小林 蒼陽	5	H20.4.10	男	取受	新井 美織	4	平21.9.18	女	取受	
	吉楽 流生	5	H20.12.24	男		中 畝 俊哉	4	平21.7.16	男		

千葉県					神奈川県				
									
監督 石井 正明					監督 宮本 隆弘				
	氏名	学年	生年月日	性別		氏名	学年	生年月日	性別
取受	岩瀬 駿佑	6	H19.8.31	男	取受	米谷 隆汰	5	H20.7.30	男
	荻野 美紅	6	H19.8.12	女		仲山 和輝	4	H21.7.2	男
山梨県					東京都A				
									
監督 丸山 哲央					監督 向井 幹博				
	氏名	学年	生年月日	性別		氏名	学年	生年月日	性別
取受	窪田 一葉	5	H20.11.11	女	取受	石川 一虎	6	H19.10.29	男
	大林 結音	5	H21.2.15	女		入道 隼輝	6	H20.2.15	男
東京都B					新潟県				
									
監督 工藤 末弘					監督 土屋 孝司				
	氏名	学年	生年月日	性別		氏名	学年	生年月日	性別
取受	宮上 隆将	5	H20.6.6	男	取受	土屋 龍司	6	H20.2.16	男
	宮上 勝将	5	H20.6.6	男		桑原 悠希	6	H19.6.19	男
石川県					福井県				
									
監督 窪田 浩二					監督 黒川 康信				
	氏名	学年	生年月日	性別		氏名	学年	生年月日	性別
取受	深谷 芽生	4	H21.6.11	女	取受	斎藤 瑠心	6	H19.4.3	男
	川端 優希菜	5	H20.4.15	女		田嶋 涼矢	6	H19.5.23	男

静岡県					愛知県				
									
監督 渡邊 正人					監督 森 正仁				
	氏名	学年	生年月日	性別		氏名	学年	生年月日	性別
取受	木下 穂ノ花	6	H19.10.16	女	取受	相川 源	5	H20.6.13	男
	大城 華恋	5	H20.6.2	女	取受	牧園 翔大	5	H20.11.18	男
岐阜県					滋賀県				
									
監督 藤田 俊治					監督 浅見 玄知				
	氏名	学年	生年月日	性別		氏名	学年	生年月日	性別
取受	水谷 尋登	5	H20.12.13	男	取受	井上 愛翔	6	H19.7.27	女
	岩井 煌弥	6	H19.8.5	男	取受	岡 みさと	6	H20.2.28	女
京都府					兵庫県				
									
監督 小野木 俊文					監督 巖 俊樹				
	氏名	学年	生年月日	性別		氏名	学年	生年月日	性別
取受	今岡 泰斗	6	H19.5.12	男	取受	徳永 昂誠	6	H19.12.16	男
	藤本 翔生	6	H19.4.19	男	取受	山内 煌	6	H19.5.3	男
大阪府					岡山県				
									
監督 有川 勇貴					監督 藤原 靖真				
	氏名	学年	生年月日	性別		氏名	学年	生年月日	性別
取受	植田 志希	5	H20.7.30	男	取受	小池 琳瑚	5	H20.12.22	女
	松田 凜	6	H19.8.17	女	取受	岡 棟美空	5	H20.4.22	女

愛媛県					福岡県				
									
監督 魚崎 陽一郎					監督 坪根 昭彦				
	氏名	学年	生年月日	性別		氏名	学年	生年月日	性別
取受	日野平 蓮	6	H19.9.19	男	取受	稗田 真子	6	H19.10.5	女
	大西 勇颯	6	H19.10.3	男		阪井 遼太郎	6	H19.5.16	男
佐賀県					沖縄県				
									
監督 西村 英樹					監督 泰川 雅典				
	氏名	学年	生年月日	性別		氏名	学年	生年月日	性別
取受	小野 滉大	6	H19.10.25	男	取受	平仲 健士朗	6	H19.8.10	男
	米倉 大輔	5	H21.2.7	男		仲宗根 世愛	6	H20.1.20	男

厚生労働大臣旗争奪

第43回日整全国柔道大会実施要項

- 1.日 時 令和元年10月14日（月・体育の日） 午前7時30分開場
午後0時20分開会
- 2.会 場 〒112-0003 東京都文京区春日1-16-30
講道館 大道場（7階）、学校道場・国際部道場（6階）
電 話 03-3818-4171
- 3.趣 旨 柔道整復師の人格の陶冶と資質の向上をはかり、国民医療の発展に尽くし、併せて地域柔道の普及発展と国民の体育増進に寄与することを目的とする。
- 4.主 催 公益社団法人日本柔道整復師会
〒110-0007 東京都台東区上野公園16-9
電 話 03-3821-3511
F A X 03-3822-2475
<http://www.shadan-nissei.or.jp/>
- 5.後 援 厚生労働省、東京都、公益財団法人講道館、公益財団法人全日本柔道連盟、公益財団法人東京都柔道連盟、産経新聞社
- 6.協 賛 公益社団法人全国柔道整復学校協会、公益財団法人柔道整復研修試験財団、一般社団法人日本柔道整復接骨医学会、日本柔道整復師協同組合
- 7.主 管 日本柔道整復師会 関東ブロック会・東京ブロック会
- 8.参加資格 (1)柔道ブロックより、選出された参段以上の選手であること。
ただし20代はその限りではない。
(2)その年の6月30日現在で日整会員であること。
(3)優勝チームは、次年度に2チーム出場させることができる。
(4)監督と出場選手は、全日本柔道連盟登録済みであること。
- 9.選 手 団 (1)構 成 監督 1名 選手 5名
(2)選手選考方法 自由とする。
(3)選手内容 大将 50歳以上 副将 40歳代 中堅 30歳代
次鋒 30歳代 先鋒 20歳代
(4)選手年齢は試合当日の満年齢をもって決める。
(5)配列は生年月日順とするが、同一の場合は軽量より配列のこと。
当該年代の選手には上位年代の選手を当てることができる。
(6)補欠は認めない。
(7)選手の変更は開会式前までに監督が選手係に申し出ることにより認める。
ただし、同一年代の者、または上位年代の者をもって補充する。
なお、試合開始後の変更は、負傷者が出た場合でも認めない。
- 10.試 合 (1)団体トーナメント方式とする。
(2)「柔道整復師柔道試合審判規定」による。
(3)試合時間は3分間とする。
(4)同点の場合は、内容によって勝敗を決する。
内容も同じ場合は、任意選手による代表戦(3分間、ゴールデンスコアの方式をとらない)を1回行い必ず勝敗を決する。
(5)本大会では十分な試合場の広さが確保できないため、選手の体が、床・机・

- 椅子・掲示版等に触れた場合は、「待て」をかけるものとする。
- (6)試合場は、1回戦は32畳(赤畳の中)、準々決勝(2回戦)からは50畳とする。
- (7)不測の事態が生じた場合の処置は、審判長に一任する。
- (8)1回戦は6階道場、準々決勝(2回戦)～決勝戦は7階大道場にて行う。

11.審判員

36名 Bライセンス以上
柔道ブロックより各1名とし、残りは大会本部にて選出する。

12.会議

審判員、監督会議は大会当日行う。

13.表彰

- (1)優勝・準優勝・第三位(2チーム)を表彰する。
- (2)優秀選手5名を表彰する。
- (3)出場証を授与する。
- (4)日整全国柔道大会功労表彰(日整全国柔道大会、日整全国少年柔道大会、日整全国少年柔道形競技会に、審判、監督、選手または形演武者として、通算5回出場した会員)
- (5)日整全国柔道大会特別功労表彰(日整全国柔道大会に、選手として、通算10回、15回、20回(以後、5回ごと)出場した者)
- (6)(4)及び(5)に係る出場通算基準は、前回大会までとする。

14.申し込み

- (1)申し込みは所定の書類により日本柔道整復師会宛に申し込むこと。
- (2)参加選手は医師の健康証明書を申し込み時に必ず提出のこと。
- (3)申し込み締切日は8月末日必着とする。

15.交通費

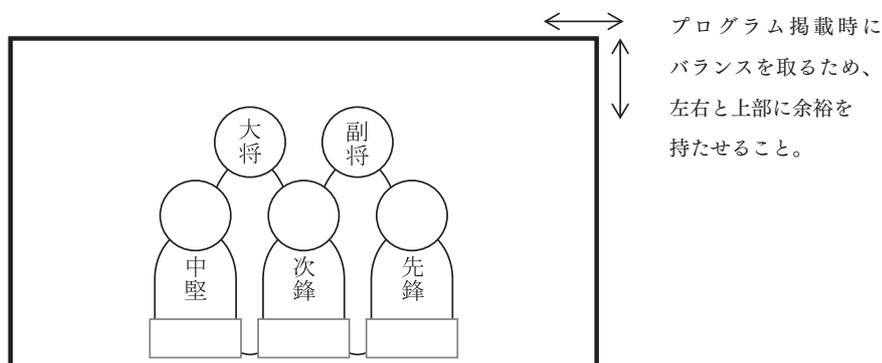
選手団の交通費は主催者の負担とする。

16.宿泊

- (1)宿泊費は各柔道ブロックの負担とする。
- (2)宿泊は要請があれば主催者側で宿泊所を紹介する。

17.集合写真

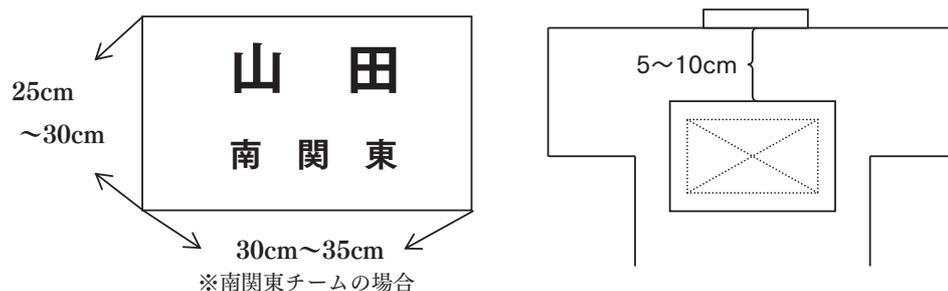
申込時に提出のこと。



- (1)選手は柔道着を着用。
- (2)並びは左から、後列立位：大将、副将、前列正座：中堅、次鋒、先鋒の順。(膝から上を撮影)
- (3)3MB以上のJPGデータで提出のこと。

18.ゼッケン

出場選手は、必ずゼッケンを縫い付けた柔道衣を着用のこと。



- (1)布地は白地(晒・太綾)で書体は太いゴシックまたは明朝体とし、男子は黒字、女子は濃赤字。
- (2)サイズは縦25～30cm、横30～35cm。
- (3)苗字(姓)は上側2/3、所属の柔道ブロック名は下側1/3。
- (4)縫い付けの場所は後ろ襟から5～10cm、対角線にも強い糸で縫い付けること。

19.特記事項

- (1)本大会では「試合場におけるコーチの振る舞いについて」平成24年4月1日付け全日本柔道連盟通達(別添参照)を適用する。
- (2)皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行なうこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

20.その他

- (1)参加者全員の傷害保険は主催者負担とする。
- (2)試合当日は健康保険証を持参すること(写でも可)。
- (3)負傷した者は直ちに大会救護係へ報告し、大会顧問医の診察を受け報告書を提出すること。
- (4)当日大会で負傷して、やむを得ず病院等に搬送した場合、初診時費用は主催者の日本柔道整復師会負担とする。この報告書の提出なき者は、すべて自己負担とする。大会終了後は受け付けない。
- (5)審判員および委員係員など当会業務として本大会に招聘された者は、本会規定に基づく役員に準ずる者(本会が役員に準ずる者として招聘した者)としての鉄道賃の額を支給する。

21.個人情報、肖像権の取り扱いについて

- 参加申込用紙に記載された個人情報は、参加申込用紙の提出により、下記取り扱いについての承諾をしたものとする。
- (1)大会中に撮影された写真、動画が大会プログラム、大会ホームページに掲載される場合がある。
 - (2)報道機関等により、新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合がある。
 - (3)提出された個人情報については、上記目的以外に使用しない。

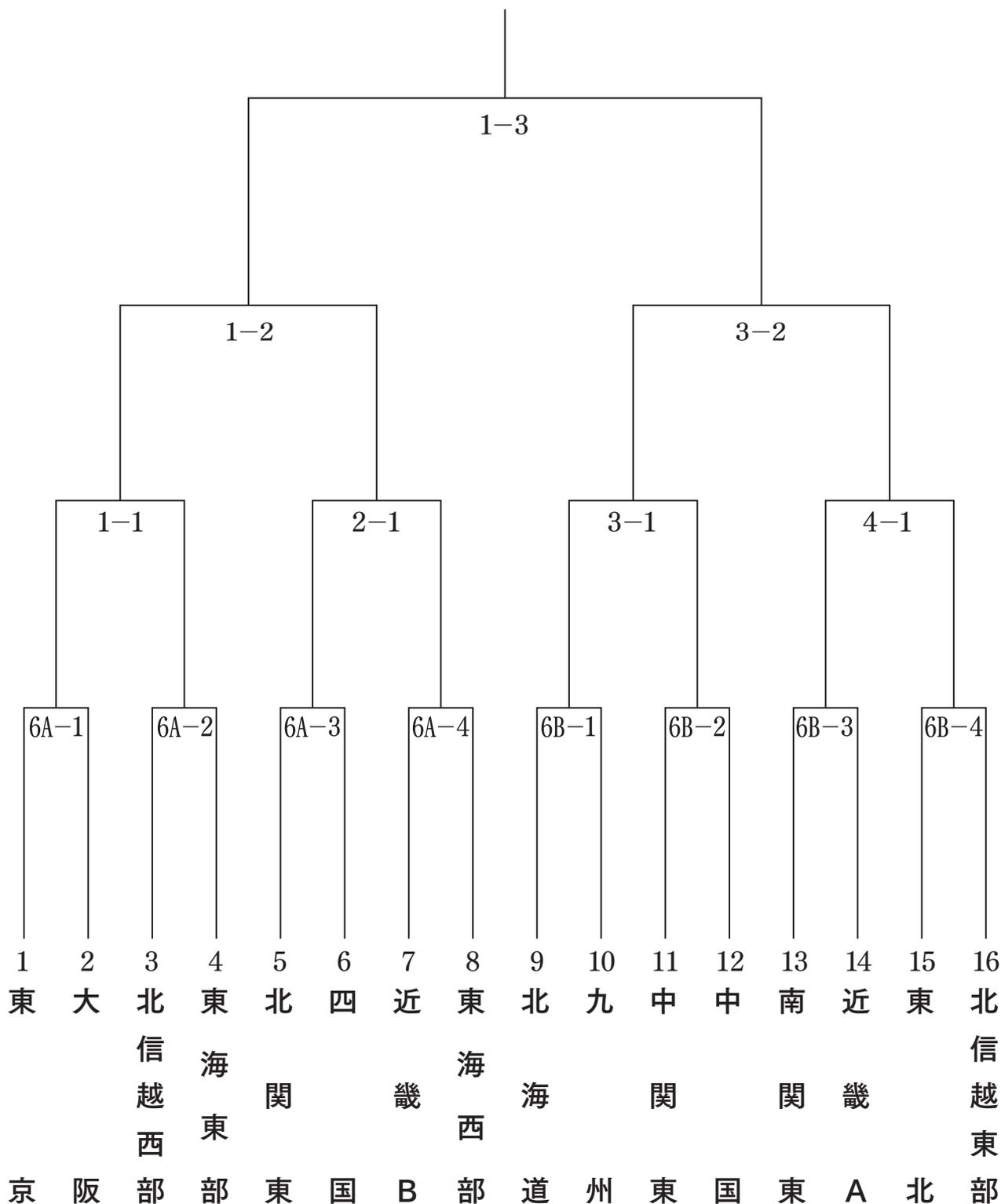
第43回日整全国柔道大会 出場者一覽

北海道						東 北					
											
監 督 7段 室 田 晴 康						監 督 5段 伊 藤 護					
	段位	氏 名	身長	体重	年令		段位	氏 名	身長	体重	年令
大将	6段	高 橋 一 夫	178	90	50才	大将	6段	太 田 邦 雄	174	91	59才
副将	5段	佐 藤 裕 美	187	115	44才	副将	5段	太 田 泰 文	173	85	55才
中堅	4段	西 尾 義 裕	173	73	35才	中堅	6段	佐 藤 昭 彦	173	120	42才
次鋒	4段	阿久津 悟	170	103	31才	次鋒	4段	松 田 幸 泰	176	135	35才
先鋒	3段	茂手木 賢 人	175	145	27才	先鋒	4段	牧 野 貴 彦	181	130	32才
北関東						中関東					
											
監 督 8段 倉 井 洋 治						監 督 7段 渡 邊 秀 樹					
	段位	氏 名	身長	体重	年令		段位	氏 名	身長	体重	年令
大将	5段	小 椋 国 吉	166	88	56才	大将	5段	飯 田 一 幸	175	91	50才
副将	5段	小 菅 野 真 貴	182	110	40才	副将	5段	新 井 伸 章	181	97	42才
中堅	4段	倉 井 康 雄	178	93	36才	中堅	5段	金 杉 信 昭	170	78	40才
次鋒	4段	刈 屋 遵 遵	178	83	36才	次鋒	4段	北 川 睦 睦	180	135	38才
先鋒	4段	新 田 健 治	170	100	33才	先鋒	3段	仁 平 悠 太	178	104	25才
南関東						東 京					
											
監 督 8段 小 川 高 巧						監 督 7段 難 波 英 樹					
	段位	氏 名	身長	体重	年令		段位	氏 名	身長	体重	年令
大将	5段	富 吉 司	168	77	52才	大将	6段	別 所 道 記	177	100	50才
副将	6段	根 岸 清 道	166	98	46才	副将	4段	松 岡 隆 明	165	75	43才
中堅	3段	渡 邊 公 公	190	120	37才	中堅	5段	紺 野 直 能	173	72	37才
次鋒	3段	山 本 秀 太	183	100	33才	次鋒	5段	和 田 雅 史	180	100	34才
先鋒	4段	横 尾 大 悟	177	85	32才	先鋒	3段	白 川 竜 平	167	95	32才

北信越東部							北信越西部						
													
監督 7段 小林 修							監督 7段 八本木 通 秋						
	段位	氏 名	身長	体重	年令		段位	氏 名	身長	体重	年令		
大将	5段	横山 和雄	170	73	53才	大将	5段	小倉 弘行	183	100	50才		
副将	6段	岩下 貴士	176	110	40才	副将	5段	城寶 忠信	174	90	43才		
中堅	6段	牛木 幹人	172	89	42才	中堅	5段	田中 寿人	175	80	40才		
次鋒	5段	村山 洸介	166	67	37才	次鋒	5段	山崎 昌司	177	110	37才		
先鋒	4段	土屋 樹	172	75	32才	先鋒	4段	窪田 和樹	182	80	30才		
東海東部							東海西部						
													
監督 5段 春日井 和 幸							監督 6段 渡 邊 勇 次						
	段位	氏 名	身長	体重	年令		段位	氏 名	身長	体重	年令		
大将	5段	岩澤 勇治	173	100	51才	大将	6段	篠田 善晴	175	85	50才		
副将	4段	吉田 卓実	186	85	43才	副将	5段	川崎 洋平	174	90	41才		
中堅	3段	浅井 友哉	187	105	34才	中堅	4段	星野 紘輝	177	100	41才		
次鋒	3段	梅原 拓実	171	72	30才	次鋒	4段	札堂 勇太	174	86	38才		
先鋒	4段	山下 徳大	164	73	30才	先鋒	5段	橋爪 良太	176	77	36才		
近畿A							近畿B						
													
監督 5段 上 田 篤							監督 4段 川 口 雅 也						
	段位	氏 名	身長	体重	年令		段位	氏 名	身長	体重	年令		
大将	5段	木村 友慈	175	99	56才	大将	5段	土屋 靖	172	80	50才		
副将	6段	湊谷 知幹	179	123	47才	副将	5段	竹村 尚記	174	98	44才		
中堅	5段	平野 大亮	187	80	44才	中堅	4段	青木 守	170	67	39才		
次鋒	5段	真下 盛吉	168	75	40才	次鋒	4段	梅田 貴吉	173	120	39才		
先鋒	3段	ガンバートル・フデレムフ	173	85	32才	先鋒	3段	中石 大輔	180	95	33才		

大 阪							中 国					
												
監督 7段 玉 山 晋 治							監督 7段 藤 原 澄 男					
	段位	氏 名	身長	体重	年令		段位	氏 名	身長	体重	年令	
大将	3段	石 居 謙 二	174	90	59才	大将	3段	山 根 一 人	180	115	51才	
副将	5段	平 田 和 義	176	100	48才	副将	3段	高 越 誠 司	175	105	43才	
中堅	6段	桂 剛	177	102	47才	中堅	3段	山 中 栄 一 志	172	76	38才	
次鋒	4段	樋 口 真 臣	174	100	41才	次鋒	4段	山 口 剛 志 也	173	98	33才	
先鋒	3段	吉 道 司	170	95	33才	先鋒	4段	富 岡 享 也	175	95	33才	
四 国							九 州					
												
監督 5段 亀 岡 英 仁							監督 3段 上 野 勝 寛					
	段位	氏 名	身長	体重	年令		段位	氏 名	身長	体重	年令	
大将	4段	富 岡 利 仁	178	97	50才	大将	6段	檜 山 尚 浩	183	110	50才	
副将	5段	福 井 宏 治	177	95	46才	副将	5段	馬 場 健 太 郎	162	80	40才	
中堅	5段	古 味 直 憲	175	92	41才	中堅	4段	松 田 純	175	95	36才	
次鋒	3段	山 口 大 悟	170	83	37才	次鋒	3段	大 隈 智 史	174	125	34才	
先鋒	3段	山 口 真 吾	163	63	35才	先鋒	2段	森 一 馬	169	93	29才	

第43回日整全国柔道大会 トーナメント表



※1回戦は、6階学校道場（1-8チーム）・6階国際部道場（9-16チーム）で実施
 ※準々決勝～決勝は、7階大道場で実施

形の演武

固の形

(取) 5段 中山 智史(岐阜県)

(受) 5段 林 聖治(岐阜県)

平成31年度 日整全国柔道大会功労表彰者氏名一覧

(敬称略・順不同)

特別功労者表彰(15回)

宮本 隆弘(神奈川県)

特別功労者表彰(10回)

根岸 清道(神奈川県) 田中 寿人(石川県) 茂木 春喜(高知県)

功労者表彰(5回)

工藤 重孝(北海道) 西尾 義裕(北海道) 葉名尻 亘(北海道)
渡部 康光(宮城県) 相沢 寿(茨城県) 石井 洋(群馬県)
小野塚 弘(群馬県) 根岸 誉和(群馬県) 渡辺 和洋(群馬県)
渡辺 良行(群馬県) 渡邊 公(千葉県) 清水 泰平(神奈川県)
松村 直行(長野県) 浅井 友哉(愛知県) 古市 博己(三重県)
岡田 達也(京都府) 木村 友慈(奈良県) 木村 正明(和歌山県)
山口 真一(大阪府) 田中 栄一(岡山県) 福井 宏治(愛媛県)
見原 道生(宮崎県)

(平成31年3月現在)

令和元年 全国柔道整復師高段者大会要項

- | | | | |
|--------|---|---|----|
| 1.日 | 時 | 令和元年10月14日（月・体育の日）午前9時30分 | 開始 |
| 2.会 | 場 | 講道館
〒112-0003 東京都文京区春日1丁目16の30 | |
| 3.主 | 催 | 公益社団法人日本柔道整復師会 | |
| 4.後 | 援 | 公益財団法人講道館、公益財団法人全日本柔道連盟、
公益財団法人東京都柔道連盟、産経新聞社 | |
| 5.協 | 賛 | 日本柔道整復師協同組合 | |
| 6.参加資格 | | 下記(1)から(3)いずれも満たす者
(1)公益社団法人日本柔道整復師会会員または柔道整復師
(2)平成31年度全日本柔道連盟に登録している者
(3)5段以上（女子は3段以上）の段別試合とする | |
| 7.試合方法 | | 個人試合 | |
| 8.審判規定 | | (1)「柔道整復師柔道試合審判規定」による
(2)試合時間は3分（ゴールデンスコア方式をとらない）
(3)試合場は32畳（赤畳の中）とする
(4)選手の体が床・机・椅子・掲示版等に触れそうな場合は「待て」をかけるものとする
(5)一人1試合（出場者が奇数となった場合等、主催者（事業運営部）の判断で例外的な対応をとる場合あり） | |
| 9.申込方法 | | (1)所定の参加申込書（エクセルファイル）により、所属の都道府県柔道整復師会経由で日本柔道整復師会あてメール（日整事業運営部：jigyo@shadan-nissei.or.jp）で申し込むこと（押印済みの原本は日整あて郵送のこと）
(2)日本柔道整復師会会員外の柔道整復師は、最寄の都道府県柔道整復師会とおして申し込みをすること
(3)申し込み締切日は8月末日必着とする
(4)日整全国柔道大会出場選手も申込可
(5)申込者多数となり大会運営上可能な範囲を超えた場合は、事前の予告なく、主催者（事業運営部）の判断で、申込受付を締め切る場合あり | |
| 10.表彰 | | 今大会優秀者 | |
| 11.組合せ | | 年齢などを考慮して主催者（事業運営部）がこれを行う | |
| 12.その他 | | (1)交通費、宿泊費は、出場者負担とする
(2)出場者の傷害保険は主催者負担とする
(3)試合当日は健康保険証を持参すること（写し可）
(4)負傷した者は直ちに救護係に報告し、大会顧問医の診察を受け、報告書を提出すること
(5)大会当日負傷して、やむを得ず病院等に搬送された場合、初診時費用は主催者負担とする。ただし、この報告書の提出なき者は、全額自己負担とする。大会終了後は受け付けない
(6)やむを得ず、出場者が欠席することとなった場合は、大会開始までに所属の都道府県柔道整復師会又は本人が選手係に届出ること
(7)試合時間に遅れた者は出場できないので注意のこと | |

令和元年 全国柔道整復師高段者大会 組合せ

男子高段者

6階 国際部道場

五段の部

上 田 乃 弘(埼玉県)	—	黒 氏 憲(愛知県)
荻 野 裕 介(埼玉県)	—	外 園 良 輔(千葉県)
杉 本 洋(東京都)	—	橋 爪 良 太(三重県)
竹 村 尚 記(京都府)	—	金 城 洋 平(東京都)
佐間田 仁(茨城県)	—	平 野 大 亮(奈良県)
吉 田 卓 実(静岡県)	—	古 味 直 憲(高知県)
川 崎 洋 平(三重県)	—	馬 場 健太郎(熊本県)
木 村 友 慈(奈良県)	—	小 崎 太(熊本県)
桑 名 和 行(新潟県)	—	青 沼 守(東京都)
仙洞田 津 義(岐阜県)	—	水 谷 澄 夫(三重県)

6階 学校道場

六段の部

牛 木 幹 人(新潟県)	—	石 津 佳 和(奈良県)
高 橋 一 夫(北海道)	—	黒 田 善 治(和歌山県)
佐 藤 公 男(埼玉県)	—	大 塚 俊 彦(埼玉県)
大 角 康 之(京都府)	—	石 津 佳 和(奈良県)

七段の部

高 橋 洋 一(埼玉県)	—	奈 須 開 生(宮崎県)
岡 島 順(京都府)	—	平 野 相 徳(和歌山県)
奈 須 開 生(宮崎県)	—	茂 木 春 喜(高知県)

八段の部

大 矢 八 平(兵庫県)	—	藤 田 利 雄(富山県)
--------------	---	--------------

女子高段者

五段の部

川 島 芳 江(東京都)	—	
--------------	---	--

日整全国少年柔道大会 栄光の記録

回	年月日／会場	優 勝	準 優 勝	第 3 位	第 3 位
第1回	H. 4.10. 4 講道館	東 北	東 海 西 部	近 畿	中 関 東
第2回	H. 5.10. 3 講道館	近 畿	大 阪	北 海 道	北 信 越 西 部
第3回	H. 6.10. 2 講道館	北 信 越 西 部	中 関 東	大 阪	東 京 A
第4回	H. 7.10.15 講道館	大 阪	北 信 越 西 部	北 海 道	北 信 越 東 部
第5回	H. 8.10. 6 講道館	北 信 越 西 部	北 海 道	南 関 東	九 州
第6回	H. 9.10.12 講道館	羽島柔道少年団 (岐阜県)	三国町柔道教室 (福井県)	岡山錬成会 (岡山県)	北富士柔道スポーツ少年団 (山梨県)
第7回	H.10.10.11 講道館	東福岡柔道教室 (福岡県)	羽島柔道少年団 (岐阜県)	相武館吉田道場 (神奈川県)	共栄塾中田道場 (富山県)
第8回	H.11.10.11 講道館	黒崎町柔道連盟 (新潟県)	一道館田代道場 (東京A)	東福岡道場教室 (福岡県)	大石道場 (愛知県)
第9回	H.12.10. 9 講道館	五條五大館道場 (奈良県)	朝飛道場 (神奈川県)	正導館米田道場 (大阪府)	黒崎町柔道連盟 (新潟県)
第10回	H.13.10. 8 講道館	愛 知 県	北 海 道	三 重 県	奈 良 県
第11回	H.14.10.14 講道館	福 岡 県	長 野 県	神 奈 川 県	千 葉 県
第12回	H.15.10.13 講道館	岐 阜 県	愛 知 県	兵 庫 県	和 歌 山 県
第13回	H.16.10.11 講道館	愛 知 県	奈 良 県	熊 本 県	宮 崎 県
第14回	H.17.10.10 講道館	兵 庫 県	広 島 県	神 奈 川 県	千 葉 県
第15回	H.18.10. 9 講道館	奈 良 県	福 井 県	兵 庫 県	徳 島 県
第16回	H.19.10. 8 講道館	宮 崎 県	大 阪 府	広 島 県	福 岡 県
第17回	H.20.10.13 講道館	神 奈 川 県	北 海 道	兵 庫 県	青 森 県
第18回	H.21.10.12 講道館	兵 庫 県	愛 知 県	神 奈 川 県	広 島 県
第19回	H.22.10.11 講道館	神 奈 川 県	奈 良 県	東 京 A	徳 島 県
第20回	H.23.10.10 講道館	神 奈 川 県	茨 城 県	三 重 県	東 京 A
第21回	H.24.10. 8 講道館	茨 城 県	神 奈 川 県	京 都 府	大 阪 府
第22回	H.25.10.14 講道館	茨 城 県	愛 知 県	岐 阜 県	富 山 県
第23回	H.26.10.13 講道館	青 森 県	山 口 県	広 島 県	愛 知 県
第24回	H.27.10.12 講道館	千 葉 県	広 島 県	神 奈 川 県	兵 庫 県
第25回	H.28.10. 9 講道館	千 葉 県	茨 城 県	東 京 A	大 阪 府
第26回	H.29.10. 8 講道館	愛 知 県	岐 阜 県	静 岡 県	熊 本 県
第27回	H.30.10.7 講道館	兵 庫 県	神 奈 川 県	愛 媛 県	秋 田 県
第28回	R. 1.10.14 講道館				

日整全国柔道大会 栄光の記録

回	年月日／会 場	優 勝	準優勝	第三位	第三位
第1回	S. 30. 2. 20 講 道 館	(青年の部)			北 関 東
		関本 進(茨 城)	古関光正(宮 城)	川口良男(神奈川)	
		(壮年前期の部)			
		高嶋道夫(富 山)	伊勢茂一(兵 庫)	二瓶英雄(北海道)	
		(壮年後期の部)			
		田代文衛(愛 知)	萩原広雄(兵 庫)	本部正雄(東 京)	
第2回	S. 53. 10. 28 講 道 館	南 関 東	北 信 越 西 部	四 国	北 関 東
第3回	S. 54. 9. 1 京都旧武徳殿	北 信 越 西 部	東 北	南 関 東	東 海 西 部
第4回	S. 55. 8. 30 講 道 館	東 海 東 部	東 北	北 信 越 西 部	西 東 京
第5回	S. 56. 10. 24 横浜文化体育館	九 州	大 阪	南 関 東	北 関 東
第6回	S. 57. 9. 18 愛知県スポーツ会館	東 京	九 州	東 北	東 海 東 部
第7回	S. 58. 11. 5 神戸市立中央体育館	東 北	東 京	北 信 越 西 部	九 州
第8回	S. 59. 10. 27 講 道 館	東 北	東 京	北 関 東	東 海 東 部
第9回	S. 60. 10. 26 新潟市鳥屋野総合体育館武道場	東 北	北 海 道	南 関 東	東 京
第10回	S. 61. 10. 25 千葉県武道館	東 北	東 京	北 関 東	東 海 東 部
第11回	S. 62. 10. 24 大阪市立修道館	東 海 東 部	東 京	東 北	九 州
第12回	S. 63. 10. 22 宮城県武道館	東 海 東 部	東 京	北 信 越 西 部	大 阪
第13回	H. 元. 10. 28 京都市武道センター	近 畿	東 京	東 海 東 部	東 北
第14回	H. 2. 10. 27 埼玉県立武道館	東 海 東 部	南 関 東	中 関 東	東 海 西 部
第15回	H. 3. 10. 26 岡山県立武道館	東 海 東 部	北 信 越 西 部	近 畿	東 北
(通算16回) 第1回	H. 4. 10. 4 講 道 館	北 海 道	東 北	九 州	
(通算17回) 第2回	H. 5. 10. 3 講 道 館	東 北	東 海 東 部	東 京	
(通算18回) 第3回	H. 6. 10. 2 講 道 館	東 海 東 部	北 海 道	東 北	
第19回	H. 7. 10. 15 講 道 館	東 海 東 部	東 京	九 州	北 海 道
第20回	H. 8. 10. 6 講 道 館	東 海 東 部	東 京	南 関 東	九 州
第21回	H. 9. 10. 12 講 道 館	東 京	南 関 東	東 海 東 部	北 信 越 西 部
第22回	H. 10. 10. 11 講 道 館	東 京	北 信 越 西 部	北 関 東	南 関 東
第23回	H. 11. 10. 11 講 道 館	東 京	東 海 東 部	北 信 越 西 部	東 北
第24回	H. 12. 10. 9 講 道 館	東 京	北 信 越 西 部	中 関 東	北 信 越 東 部
第25回	H. 13. 10. 8 講 道 館	東 京	中 関 東	近 畿	北 関 東
第26回	H. 14. 10. 14 講 道 館	東 京	東 海 東 部	大 阪	九 州
第27回	H. 15. 10. 13 講 道 館	大 阪	中 関 東	中 国	九 州
第28回	H. 16. 10. 11 講 道 館	北 信 越 西 部	九 州	東 北	北 関 東

回	年月日／会 場	優 勝	準優勝	第三位	第三位
第29回	H.17.10.10 講 道 館	九 州	中 国	北信越西部B	北信越西部A
第30回	H.18.10.9 講 道 館	大 阪	東 京	北信越西部	九 州 A
第31回	H.19.10.8 講 道 館	東 京	北信越東部	大 阪 A	中 国
第32回	H.20.10.13 講 道 館	東 京 A	九 州	大 阪	北信越西部
第33回	H.21.10.12 講 道 館	東 京 A	南 関 東	北信越西部	東 京 B
第34回	H.22.10.11 講 道 館	北信越西部	東 京 A	北信越東部	南 関 東
第35回	H.23.10.10 講 道 館	東 京	北信越西部A	東 海 東 部	大 阪
第36回	H.24.10.8 講 道 館	北信越西部	東 海 東 部	東 京 A	東 京 B
第37回	H.25.10.14 講 道 館	近 畿	東 京	北信越西部B	北信越西部A
第38回	H.26.10.13 講 道 館	南 関 東	北信越西部	中 関 東	北 海 道
第39回	H.27.10.12 講 道 館	東 京	近 畿	北信越西部	南 関 東 B
第40回	H.28.10.9 講 道 館	南 関 東	北信越西部	北 関 東	中 関 東
第41回	H.29.10.8 講 道 館	南 関 東 B	近 畿	東 海 東 部	九 州
第42回	H.30.10.7 講 道 館	近 畿	北信越西部	東 北	北 関 東
第43回	R.1.10.14 講 道 館				

日整全国少年柔道形競技会 栄光の記録

回	年月日／会 場	第1位	第2位	第3位	第4位
第1回	H.23.10.10 講 道 館	宮 崎 県	神 奈 川 県	東 京 都	岡 山 県
第2回	H.24.10.8 講 道 館	愛 知 県	香 川 県	三 重 県	岡 山 県
第3回	H.25.10.14 講 道 館	東 京 都	岡 山 県	福 井 県	三 重 県
第4回	H.26.10.13 講 道 館	東 京 A	青 森 A	兵 庫 県	岐 阜 県
第5回	H.27.10.12 講 道 館	愛 知 県	香 川 県	北 海 道 A	静 岡 県
第6回	H.28.10.9 講 道 館	岐 阜 県	愛 知 県	神 奈 川 県	大 阪 府
第7回	H.29.10.8 講 道 館	青 森 県	北 海 道 A	岡 山 県	三 重 県
第8回	H.30.10.7 講 道 館	兵 庫 県	青 森 県	神 奈 川 県	北 海 道 B
第9回	R.1.10.14 講 道 館				

日整全国柔道大会「形」演武者

(敬称略・順不同)

回	年月日	会場	演 技 者			所 属
第1回	S. 30. 2. 20	講 道 館	(投 の 形)	(取) 蔦谷 正雄	(受) 高野 甚平	(東京都)
			(偽我流表形)	(捕) 伊東 清治	(受) 関口 敏雄	(東京都)
			(無想流之形)	井上清三郎	谷本 一一	(香川県)
			(香取神道流居合術)		杉野 嘉男	(神奈川県)
			(双水執流柔術腰廻之形)		佐藤昇一郎	(東京都)
			(警視流拳法之形)	(捕) 東城福三郎	(受) 鈴木 鑠	(東京都)
			(真蔭流柔術之形)	(捕) 三上賢治郎	(受) 瀧沢常三郎	(東京都)
			(天神真揚流柔術之形)	(捕) 関根 源内	(受) 関根 英男	(東京都)
			(天神真揚流柔術之形)		(捕) 宮本 半蔵 (受) 岩佐 之	(東京都) (宮城県)
			(極 の 形)	(取) 前田 武郷	(受) 仙波 忠雄	(東京都)
(古式の形)	(取) 黒須 春次	(受) 藤田 政信	(東京都)			
第2回	S. 53. 10. 28	講 道 館	(投 の 形)	(取) 六段 洪谷 正久	(受) 五段 須藤 安通	(東京都)
			(古式の形)	(取) 八段 大沢貫一郎	(受) 七段 三浦 六郎	(東京都)
第3回	S. 54. 9. 1	京都旧武徳殿	(投 の 形)	(取) 六段 大槻 榊美	(受) 五段 三宅 博道	(京都府)
			(古式の形)	(取) 八段 中村治一郎	(受) 八段 廣谷 正己	(京都府)
第4回	S. 55. 8. 30	講 道 館	(投 の 形)	(取) 六段 六郷 浩庸	(受) 五段 岩崎 律義	(愛知県)
			(極 の 形)	(取) 八段 渡辺利一郎	(受) 五段 鈴木 健一	(神奈川県)
第5回	S. 56. 10. 24	横 浜 文 化 体 育 館	(投 の 形)	(取) 四段 林 紀博	(受) 四段 山下三樹夫	(北海道)
			(古式の形)	(取) 八段 島谷 一美	(受) 六段 鈴木 莊士	(宮城県)
第6回	S. 57. 9. 18	愛 知 県 ス ポ ー ツ 会 館	(投 の 形)	(取) 七段 加藤 亨	(受) 七段 武原 利雄	(大分県)
			(古式の形)	(取) 八段 小島 吉雄	(受) 六段 稲木 博	(福井県)
第7回	S. 58. 11. 5	神 戸 市 立 中 央 体 育 館	(投 の 形)	(取) 五段 湯浅 光範	(受) 五段 石岡 順三	(広島県)
			(古式の形)	(取) 八段 湊 庄市	(受) 八段 原田 岩雄	(徳島県)
第8回	S. 59. 10. 27	講 道 館	(極 の 形)	(取) 六段 高木 志行	(受) 六段 長ヶ部孔司	(東京都)
			(古式の形)	(取) 八段 伊藤 秋夫	(受) 八段 三浦 六郎	(東京都)
第9回	S. 60. 10. 26	新潟市鳥谷野総 合体育館武道場	(投 の 形)	(取) 五段 伊東 祐男	(受) 五段 霜鳥 芳男	(新潟県)
			(古式の形)	(取) 七段 勝山 清一	(受) 八段 久保 照夫	(富山県)
第10回	S. 61. 10. 25	千 葉 武 道 館	(投 の 形)	(取) 八段 加藤 幸夫	(受) 六段 須賀 康明	(千葉県)
			(古式の形)	(取) 九段 鈴木 鳥松	(受) 七段 下野 努	(茨城県)
第11回	S. 62. 10. 24	大 阪 市 立 修 道 館	(極 の 形)	(取) 六段 岩田 勝	(受) 五段 松下 倫久	(大阪府)
			(古式の形)	(取) 八段 中井 秀雄	(受) 八段 廣谷 正己	(京都府)
第12回	S. 63. 10. 22	宮 城 県 武 道 館	(投裏の形)	(取) 七段 工藤 兼雄	(受) 四段 工藤 克之	(秋田県)
			(古式の形)	(取) 九段 島谷 一美	(受) 七段 鈴木 壮士	(宮城県)
第13回	H. 元. 10. 28	京 都 市 武 道 セ ン タ ー	(五 の 形)	(取) 八段 中井 秀雄	(受) 八段 廣谷 正己	(京都府)
			(極 の 形)	(取) 七段 井上 彰二	(受) 六段 道家 勝昭	(京都府)
第14回	H. 2. 10. 27	埼 玉 県 立 武 道 館	(古式の形)	(取) 七段 中野 高男	(受) 六段 村田 次郎	(埼玉県)
			(極 の 形)	(取) 七段 石田金次郎	(受) 七段 會田 俊雄	(埼玉県)
第15回	H. 3. 10. 26	岡 山 武 道 館	(極 の 形)	(取) 八段 佐藤 克己	(受) 七段 坪井 昇	(岡山県)
			(起倒流)	(取) 七段 内野 幸重	(受) 五段 大谷 崇正	(岡山県)
第16回	H. 4. 10. 4	講 道 館	(極 の 形)	(取) 七段 都築 茂	(受) 七段 春日 邦人	(東京都)
			(天神真揚流・投捨の形)		(取) 免許 柴田 孝一 (受) 柴田 孝和	(東京都)
第17回	H. 5. 10. 3	講 道 館	(投 の 形)	(取) 六段 田中 一郎	(受) 五段 下地 秀和	(東京都)
			(五 の 形)	(取) 八段 鈴木 義彦	(受) 八段 新岡 正三	(東京都)
第18回	H. 6. 10. 2	講 道 館	(極 の 形)	(取) 六段 篠原 範昭	(受) 七段 長ヶ部孔司	(東京都)
			(柔 の 形)	(取) 六段 梅津 勝子	(受) 三段 川島 芳江	(東京都)
第19回	H. 7. 10. 15	講 道 館	(投 の 形)	(取) 七段 英 道生	(受) 六段 齊藤 英男	(神奈川県)
			(古式の形)	(取) 七段 中野 高男	(受) 七段 村田 次郎	(埼玉県)
第20回	H. 8. 10. 6	講 道 館	(投 の 形)	(取) 六段 吉田 正治	(受) 五段 相沢 克己	(千葉県)
			(古式の形)		(取) 八段 下野 努 (受) 七段 鈴木 莊士	(茨城県) (宮城県)
第21回	H. 9. 10. 12	講 道 館	(投 の 形)	(取) 六段 荻野 和重	(受) 五段 荻野 義之	(埼玉県)
			(古式の形)	(取) 七段 野村 喜好	(受) 六段 前原 幸治	(東京都)

回	年月日	会場	演 技 者				所 属	
第22回	H. 10. 10. 11	講 道 館	(投 の 形)	(取) 六段	大藤 忠昭	(受) 五段	田島 隆行	(群馬県)
			(古式の形)	(取) 七段	木下 尚光	(受) 五段	出雲 政夫	(栃木県)
第23回	H. 11. 10. 11	講 道 館	(投 の 形)	(投) 四段	小池 正人	(受) 三段	稲見 浩一	(大阪府)
			(起倒流之形)	(取形) 七段	井上 彰二	(請立) 五段	岡島 順	(京都府)
第24回	H. 12. 10. 9	講 道 館	(柔 の 形)			(取) 五段	横山 悦子	(福井県)
						(受) 四段	大森 千草	(長野県)
第25回	H. 13. 10. 8	講 道 館	(古式の形)	(取) 七段	林 岩男	(受) 六段	吉留 義幸	(鹿児島県)
			(柔 の 形)	(取) 四段	川島 芳江	(受) 三段	鶴岡 圭	(東京都)
第26回	H. 14. 10. 14	講 道 館	(五 の 形)	(取) 七段	松本 裕司	(受) 五段	竹田 昌司	(香川県)
			(投 の 形)	(取) 七段	室田 晴康	(受) 五段	葉名尻 任	(北海道)
第27回	H. 15. 10. 13	講 道 館	(講道館護身術)	(取) 六段	酒井 義之	(受) 六段	中村 寿一	(静岡県)
			(柔 の 形)	(取) 六段	大久保達朗	(受) 五段	重松 哲夫	(福岡県)
第28回	H. 16. 10. 11	講 道 館	(五 の 形)	(取) 六段	末永 明信	(受) 六段	神田 雅春	(富山県)
			(投 の 形)	(取) 六段	富田 康之	(受) 五段	前浜 忠成	(兵庫県)
第29回	H. 17. 10. 10	講 道 館	(古式の形)	(取) 七段	齋藤 尚道	(受) 六段	奈良岡英雄	(青森県)
			(投 の 形)	(取) 五段	渡邊 勇次	(受) 五段	篠田 善晴	(岐阜県)
第30回	H. 18. 10. 9	講 道 館	(固 の 形)	(取) 七段	山元 一孝	(受) 六段	奈須 開生	(宮崎県)
			(古式の形)	(取) 七段	原田 照夫	(受) 五段	小沢 昭夫	(埼玉県)
第31回	H. 19. 10. 8	講 道 館	(柔 の 形)	(取) 六段	伊福 義雄	(受) 五段	甲斐 浩二	(宮崎県)
			(極 の 形)	(取) 六段	榎本 好根	(受) 五段	春日井和幸	(愛知県)
第32回	H. 20. 10. 13	講 道 館	(投 の 形)	(取) 六段	内山 貴之	(受) 三段	松井 孝文	(長野県)
			(柔 の 形)	(取) 五段	相羽 秀昭	(受) 五段	森 正仁	(愛知県)
第33回	H. 21. 10. 12	講 道 館	(柔 の 形)	(取) 六段	榎本 好根	(受) 五段	春日井和幸	(愛知県)
			(固 の 形)	(取) 六段	真中 進	(受) 六段	一ツ柳 明	(茨城県)
第34回	H. 22. 10. 11	講 道 館	(講道館護身術)	(取) 六段	榎本 好根	(受) 六段	中村 太	(愛知県)
				(取) 五段	甲斐 浩二	(受) 六段	伊福 義雄	(宮崎県)
			(柔 の 形)	(取) 五段	荒井 薫	(受) 四段	大橋 智洋	(栃木県)
				(取) 六段	藤川 進	(受) 五段	櫻井 太郎	(群馬県)
第35回	H. 23. 10. 10	講 道 館	(五 の 形)	(取) 七段	測辺 吉博	(受) 六段	小澤 昭夫	(埼玉県)
			(取) 六段	細貝 昭吾	(受) 六段	藤川 進	(群馬県)	
第36回	H. 24. 10. 8	講 道 館	(取) 六段	森 正仁	(受) 五段	相羽 秀昭	(愛知県)	
			(柔 の 形)	(取) 初段	川村 麻衣	(受) 五段	櫻井 太郎	(群馬県)
第37回	H. 25. 10. 14	講 道 館	(投 の 形)	(取) 六段	室田 次朗	(受) 六段	徳留 義見	(神奈川県)
			(取) 三段	三村 真輝	(受) 五段	藤原 靖真	(岡山県)	
			(柔 の 形)	(取) 五段	青木 保宏	(受) 六段	榎本 好根	(愛知県)
第38回	H. 26. 10. 13	講 道 館	(古式の形)	(取) 五段	春日井和幸	(受) 六段	中村 太	(愛知県)
			(極 の 形)	(取) 六段	中澤 伸一	(受) 五段	中澤 正	(北海道)
			(固 の 形)	(取) 六段	夫馬喜久治	(受) 五段	春日井和幸	(愛知県)
			(柔 の 形)	(取) 六段	真中 進	(受) 五段	青木 竜也	(茨城県)
第39回	H. 27. 10. 12	講 道 館	(取) 五段	相羽 秀昭	(受) 六段	森 正仁	(愛知県)	
			(柔 の 形)	(取) 七段	横山 悦子	(受) 六段	大森 千草	(長野県)
第40回	H. 28. 10. 9	講 道 館	(固 の 形)	(取) 四段	中山 智史	(受) 四段	林 聖治	(岐阜県)
			(講道館護身術)	(取) 六段	阿部 達夫	(受) 七段	難波 英樹	(東京都)
			(五 の 形)	(取) 六段	山本 幸雄	(受) 六段	川口 稔	(福井県)
第41回	H. 29. 10. 8	講 道 館	(投 の 形)	(取) 六段	藤崎 満	(受) 六段	妹尾 徹	(千葉県)
			(古式の形)	(取) 七段	藤川 進	(受) 六段	細貝 昭吾	(群馬県)
第42回	H. 30. 10. 7	講 道 館	(取) 七段	見原 道生	(受) 六段	甲斐 浩二	(宮崎県)	
			(投 の 形)	(取) 五段	内山 貴之	(受) 三段	尾崎 準	(長野県)
第43回	R. 1. 10. 14	講 道 館	(固 の 形)	(取) 四段	中山 智史	(受) 四段	林 聖治	(岐阜県)
			(古式の形)	(取) 七段	藤川 進	(受) 七段	細貝 昭吾	(群馬県)
第44回	H. 30. 10. 7	講 道 館	(固 の 形)	(取) 五段	中山 智史	(受) 五段	林 聖治	(岐阜県)
			(柔 の 形)	(取) 四段	石田 桃子	(受) 三段	石田真理子	(愛知県)
第45回	R. 1. 10. 14	講 道 館	(固 の 形)	(取) 五段	中山 智史	(受) 五段	林 聖治	(岐阜県)

日整全国柔道大会 功劳表彰者氏名

(敬称略・順不同)

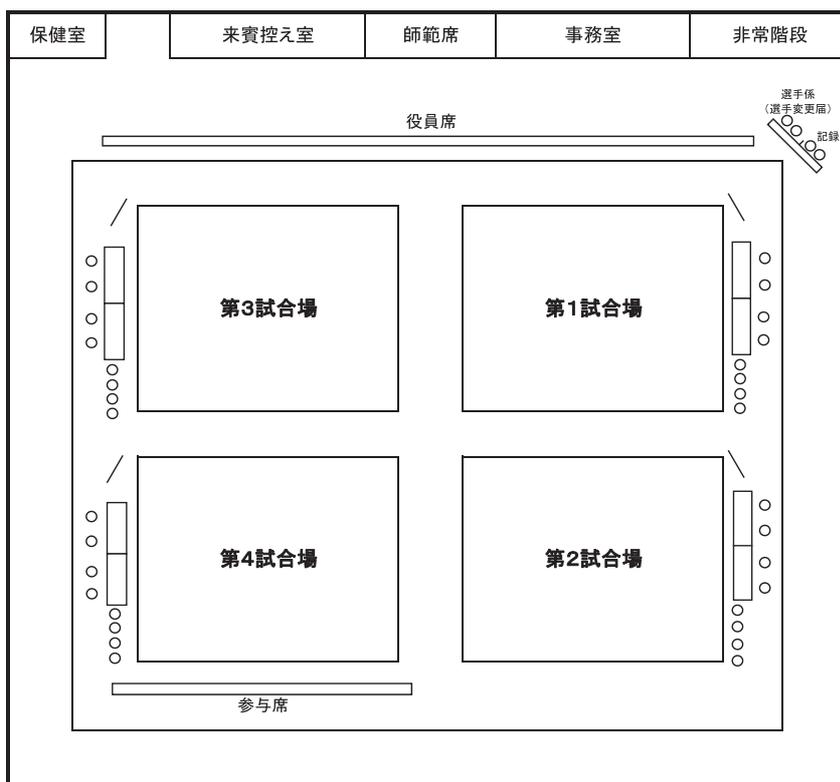
回・年月日	氏名
第7回 (S. 58. 11. 5)	滝沢 茂(東北) 木暮 昌利(北関東) 田村 四郎(東京) 望月 映英(東海東部) 渡辺利一郎(南関東) 松下 倫久(大阪) 工藤喜代廣(南関東) 石橋 良治(中国) 宮本 隆(南関東) 武田 道昭(四国) 栗山 昇(北信越東部) 上田 隆三(東京)
第8回 (S. 59. 10. 27)	田村 彰国(北関東) 吉田 義正(東海東部) 関口 孝義(北関東) 早瀬 高行(東海東部) 加藤 幸夫(南関東) 重白太慧人(中国) 篠原 博義(北信越東部) 富岡 周三(中国) 木村 良徳(東海西部) 大川 健介(四国) 坪田 栄吉(東海西部) 橋本 保範(九州)
第9回 (S. 60. 10. 26)	佐藤 良夫(東北) 大前 正行(東海西部) 吉田 公一(北関東) 岩井 克良(北信越西部) 見田 宮三(東海東部) 水野 勝夫(北信越西部) 宗宮 市雄(東海西部)
第10回 (S. 61. 10. 25)	北村 守(北海道) 高宮 廣(東京) 鈴木 壮士(東北) 安藤 茂(大阪) 岩崎 健二(東北) 山口 政吉(大阪) 北爪 隆雄(北関東) 柏 固郎(大阪) 新潟 正三(東京) 松浦 明弘(大阪) 三浦 六郎(東京) 湊 庄市(四国) 小野澤昭雄(東京)
第11回 (S. 62. 10. 24)	日野 暢也(北海道) 雑賀 昌盛(近畿) 浅野 栄一(北信越東部) 田島 常留(九州) 村山 良治(北信越東部) 野口 幸男(九州) 伊東 雅和(東海西部) 大住 順治(中国) 八尋 力(近畿)
第12回 (S. 63. 10. 22)	特別表彰 木暮 昌利(北関東) (10回) 門屋 賢悟(北海道) 蕪木 和雄(北信越東部) 外尾 真弘(北海道) 石川 裕章(東海東部) 斉藤 貢(東北) 中上 正男(大阪) 山浦 道夫(北関東) 長尾 大蔵(大阪) 池内 博彦(中関東) 西原 一鏞(大阪) 佐々木政彦(東京) 河野 弘(中国) 稲木 博(北信越西部) 西野 和弘(近畿)
第13回 (H. 元. 10. 28)	特別表彰 富岡 周三(中国) (10回) 室田 晴康(北海道) 加藤 文蔵(東海西部) 五月女欣也(北関東) 田中 俊彦(東海東部) 英 道生(南関東) 坪井 昇(中国) 武田 正(東京) 橋詰 晟(四国) 飯塚 明(東京) 清川 義郎(九州) 神田 雅春(北信越西部)
第14回 (H. 2. 10. 27)	特別表彰 佐藤 良夫(東北) (10回) 滝沢 茂(東北) (10回) 大西 猛(北海道) 宮本 隆(南関東) (10回) 松江 隆(大阪) 須藤 十(東北) 新井 良政(中関東) 薄井 敏朗(南関東) 中西 敏昭(大阪)
第15回 (H. 3. 10. 26)	特別表彰 松下 倫久(大阪) (10回) 井出 昌明(北関東) 加藤伊三郎(中関東) 関口 明(中関東) 中野 高男(中関東) 藤崎 満(南関東) 岩下 富夫(北信越東部) 内山 富之(北信越東部) 小竹 一良(北信越西部) 東 秀光(北信越西部) 酒井 初雄(東海東部) 松本 祐司(四国) 岡田 安和(中国)
第16回 (H. 4. 10. 4)	下野 努(中関東) 上條 信治(北信越西部) 小柴徳太郎(東海西部) 橋本 誠(東海東部) 中田喜代司(東海西部) 佐藤 通泰(中国) 宮岡 健治(四国) 大住 武(四国) 久藤 利喜(中国) 石坂 修一(九州)
第17回 (H. 5. 10. 3)	特別表彰 小野澤昭雄(東京) (10回) 西原 一鏞(大阪) (10回) 倉井 洋治(北関東) 田中 登(南関東) 難波 英樹(東京) 大森 素久(北信越東部) 木山 時雨(北信越西部) 武田 克彦(東海西部) 磯江 信巖(四国) 国沢 光雄(四国)
第18回 (H. 6. 10. 2)	特別表彰 石川 裕章(東海東部) (10回) 山口 正(東京) 三並 良雄(東海西部) 池田 修平(北信越西部) 久保山 隆(九州)
第19回 (H. 7. 10. 15)	特別表彰 宮本 隆(南関東) (15回) 富岡 周三(中国) (15回) 佐々木政彦(中関東) (10回) 五月女欣也(北関東) (10回) 田中 俊彦(東海東部) (10回) 佐藤 武(北信越東部) 瀬尾 健次(東海東部) 千葉 覚貞(北海道) 畑中 稔(中国) 山下 武(近畿) 山元 俊隆(東海東部) 小林惣重郎(東京) 広谷 正己(近畿) 江田 三男(南関東) 川瀬 泰司(中国) 大本 広雄(北海道)
第20回 (H. 8. 10. 6)	特別表彰 松下 倫久(大阪) (15回) 飯塚 明(東京) (10回) 大久保達朗(九州) 岩崎 健二(東北) (10回) 水元 一男(中関東) 竹谷 齐(北海道) 平尾 良彦(近畿) 細川 清治(東海西部) 吉田 新吾(大阪) 橋本 昇(東京)
第21回 (H. 9. 10. 12)	特別表彰 雑賀 昌盛(近畿) (10回) 松本 祐司(四国) (10回) 石田 雅明(東海東部) 柴田 秋実(北海道) 高橋 浩一(北関東) 中山 泰雄(四国) 坂本 恒夫(東京) 佐藤 勝利(東京)

回・年月日	氏名
第22回 (H. 10. 10. 11)	特別表彰 佐藤 良夫(岩手)(15回) 難波 英樹(東京)(10回) 飯田 喜七(岡山) 篠原 範昭(東京) 手嶋新一郎(福岡) 石坂 秀司(長野) 相馬 孝之(新潟) 平田 宏文(徳島) 内 清治(鹿児島) 水野 進(静岡) 小椋 国吉(栃木) 宮本 隆弘(神奈川)
第23回 (H. 11. 10. 11)	特別表彰 英 道生(神奈川)(10回) 稲垣 智信(北海道) 向山 一夫(山梨) 重石 一昭(大分) 佐藤 太(秋田) 岩澤 勇治(静岡) 石田金次郎(埼玉) 山下 淳(大阪) 會田 俊雄(埼玉) 神原 和成(広島)
第24回 (H. 12. 10. 9)	特別表彰 滝沢 茂(青山)(15回) 小竹 一良(富山)(10回) 佐野 秀明(東京) 玉川 雅淳(愛知) 吉田 篤生(岐阜) 磯田 實(兵庫)
第25回 (H. 13. 10. 8)	特別表彰 富岡 周三(岡山)(20回) 薄井 敏朗(千葉)(10回) 大澤 均(群馬) 伊藤 孝彦(三重) 久乗 崇(神奈川) 渡辺 剛(山口) 加藤 勝範(新潟) 利仁(香川) 佐々木政彦(埼玉)(15回) 国澤 光雄(高知)(10回) 北浦 健司(石川)
第26回 (H. 14. 10. 14)	特別表彰 倉井 洋治(栃木)(10回) 吉田 新吾(大阪)(10回) 工藤 克之(秋田) 吉野 道夫(神奈川) 海津 和正(東京) 酒井 義之(静岡) 山中 宏之(秋田) 網井 照高(東京) 西村 義人(東京) 諸山 和美(愛知) 岩下 富夫(長野)(10回) 中山 泰雄(高知)(10回) 雨谷 紀雄(茨城) 松岡 慶樹(東京) 別所 道記(東京) 土屋 靖(和歌山)
第27回 (H. 15. 10. 13)	特別表彰 難波 英樹(東京)(15回) 長ヶ部 孔司(山形) 斎藤 和成(千葉) 宇佐美 進三(東京) 高木 志行(東京) 今藤 邦宏(東京) 篠田 善晴(岐阜) 田中 俊彦(愛知)(15回) 秋元 利幸(埼玉) 安蒜 松市(千葉) 梅津 勝子(東京) 都築 茂(東京) 高橋 久雄(東京) 西尾 勝彦(奈良) 田中 俊彦(愛知)(15回) 関根 正幸(埼玉) 小坂 敏幸(千葉) 田中 一郎(東京) 池内 雅胤(東京) 伊藤 満雄(東京) 山元 一孝(宮崎)
第28回 (H. 16. 10. 11)	特別表彰 英 道生(神奈川)(15回) 稲垣 智信(北海道)(10回) 岩澤 勇治(静岡)(10回) 平尾 良彦(滋賀)(10回) 築瀬 豊(栃木) 丸田 克幸(石川) 吉澤 賢二(栃木) 八本木通秋(福岡) 松本 祐司(香川)(15回) 小椋 国吉(栃木)(10回) 関口 明(埼玉)(10回) 嶋村 和彦(群馬) 森 政彦(大分) 芹澤 秀史(神奈川)
第29回 (H. 17. 10. 10)	特別表彰 五月女欣也(栃木)(15回) 佐藤 太(秋田)(10回) 神原 和成(広島)(10回) 有馬 昇(秋田) 加藤 彰一(愛知) 田中 義昭(大阪) 松井 清忠(広島) 大藤 忠昭(群馬) 紙谷 建生(愛知) 平田 和義(大阪) 鎌倉 和広(香川) 高橋 洋一(埼玉) 黒氏 憲(愛知) 尾高 博(岡山) 鈴木 孝年(愛媛) 雑賀 昌盛(兵庫)(15回) 橋本 誠(三重)(10回) 須賀 康明(千葉) 渡邊 浩二(岐阜) 河野 誠(広島)
第30回 (H. 18. 10. 9)	特別表彰 久乗 崇(神奈川)(10回) 宮嶋 隆(福島) 吉田 孝(千葉) 竹野 敬治(石川) 林 岩男(鹿児島) 宇井 肇(栃木) 吉田 正治(千葉) 川口 稔(福井) 伊藤 孝彦(三重)(10回) 吉博(埼玉) 英男(神奈川) 雄策(山口) 村田 次郎(埼玉) 渡辺 勝男(神奈川) 檜山 尚浩(福岡)
第31回 (H. 19. 10. 8)	特別表彰 別所 道記(東京)(10回) 山下 淳(大阪)(10回) 佐々木辰雄(北海道) 阿部 松雄(新潟) 秋山 啓二(大阪) 塩川 哲也(福岡) 中村 和志(北海道) 斉藤 公志郎(長野) 牛島 庸夫(大阪) 諸山 和美(愛知)(10回) 新井 博海(埼玉) 竹上 勝(愛知) 桂 剛(大阪) 佐々木和行(東京) 石津 佳和(奈良) 中谷 弘(山口)
第32回 (H. 20. 10. 13)	特別表彰 岩下 富夫(長野)(15回) 石坂 修一(福岡)(10回) 草原 征司(北海道) 荻野 義之(埼玉) 吉川 政寛(石川) 竹内 公悦(青森) 森 暁夫(神奈川) 山根 一人(岡山) 佐藤 裕美(北海道)(10回) 成田 正人(青森) 小鳥居寛仁(山梨) 藤川 進(群馬) 下地 秀和(東京)

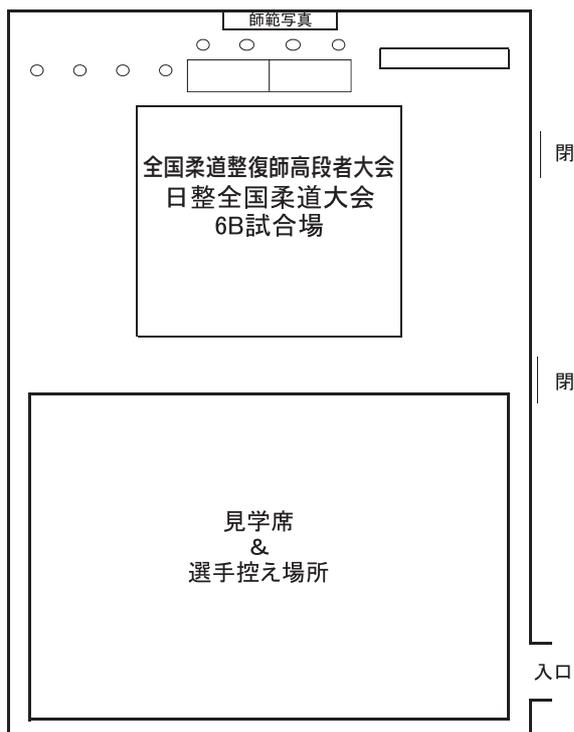
回・年月日	氏名	
第33回 (H. 21. 10. 12)	特別表彰 市川 建(栃 木) 大澤 正英(山 梨) 小倉 弘行(石 川)	難波 英樹(東 京)(20回) 岩澤 勇治(静 岡)(15回) 嶋村 和彦(群 馬)(10回) 岡本 雅信(千 葉) 森澤 秀一(千 葉) 根岸 清道(神 奈 川) 立河 洋(東 京) 伊東 祐男(新 潟) 牛木 幹人(新 潟) 橋本 覚(三 重) 竹谷 俊幸(兵 庫) 坂本 慎吾(宮 崎)
第34回 (H. 22. 10. 11)	特別表彰 丹尾 辰彦(茨 城) 平野 相徳(和 歌 山) 奈須 開生(宮 崎)	五月女欣也(栃 木)(20回) 高橋 洋一(埼 玉)(10回) 宮本 隆弘(神 奈 川)(10回) 平田 和義(大 阪)(10回) 新井 丈夫(埼 玉) 宮越 務(富 山) 山本 俊広(京 都) 正木 一将(和 歌 山) 小池 正人(大 阪) 藤原 澄男(岡 山)
第35回 (H. 23. 10. 10)	特別表彰 工藤 涉(青 森) 畑山 元政(東 京) 三並 孝豪(岐 阜)	薄井 敏朗(千 葉)(15回) 狩野 浩一(群 馬)(10回) 川口 稔(福 井)(10回) 森川 雄策(山 口)(10回) 檜山 尚浩(福 岡)(10回) 一ツ柳 明(茨 城) 登本 茂芳(埼 玉) 渡邊 秀樹(山 梨) 岩下 貴士(長 野) 高塚 劍(愛 知) 中井 孝好(三 重) 吉本 大輔(高 知) 小林 信哉(福 岡) 平山 隆裕(佐 賀)
第36回 (H. 24. 10. 8)	特別表彰 高木 啓光(群 馬) 大村 昌弘(東 京) 河合 優(富 山) 茂木 春喜(高 知)	別所 道記(東 京)(15回) 黒氏 憲(愛 知)(10回) 鈴木 孝年(愛 媛)(10回) 細谷 吉隆(千 葉) 車 耕作(神 奈 川) 小川 高巧(神 奈 川) 岡本 栄治(東 京) 古谷 富治(新 潟) 小林 修(長 野) 西岡 正訓(三 重) 細野 勝己(岐 阜) 小田 剛(大 阪) 伊福 義雄(宮 崎)
第37回 (H. 25. 10. 14)	特別表彰 新井 伸章(埼 玉) 坂本 周作(神 奈 川) 原 豊(東 京) 黒田 善治(和 歌 山)	佐藤 裕美(北 海 道)(15回) 神原 和成(広 島)(15回) 桂 剛(大 阪)(10回) 中谷 弘(山 口)(10回) 富岡 利仁(香 川)(10回) 高橋 靖(埼 玉) 大友 隆雄(神 奈 川) 加藤 学(神 奈 川) 上本 英彦(東 京) 木目沢哲哉(東 京) 津久井佑隆(東 京) 北村 公(新 潟) 榎本 好根(愛 知) 湊谷 知幹(京 都) 石居 謙二(大 阪) 古味 直憲(高 知) 重松 哲夫(福 岡)
第38回 (H. 26. 10. 13)	特別表彰 高橋 一夫(北 海 道) 奥川 賢一(東 京)	岩澤 勇治(静 岡)(20回) 牛木 幹人(新 潟)(10回) 小倉 弘行(石 川)(10回) 北浦 健司(石 川)(10回) 篠田 善晴(岐 阜)(10回) 中澤 伸一(北 海 道) 徳留 義見(神 奈 川) 豊島 公(東 京) 城寶 忠信(石 川) 田中 寿人(石 川)
第39回 (H. 27. 10. 12)	特別表彰 佐藤 克広(北 海 道) 妹尾 徹(千 葉 県) 村山 洗介(長 野 県) 玉山 晋治(大 阪 府)	小椋 国吉(栃 木 県)(15回) 岡本 雅信(千 葉 県)(10回) 和久 朋行(北 海 道) 大河原 孝(岩 手 県) 佐藤 昭彦(宮 城 県) 松本 鉄雄(神 奈 川 県) 杉本 秀人(東 京 都) 斉藤 文教(東 京 都) 一瀬 克紘(静 岡 県) 中山 智史(岐 阜 県) 大矢 八平(兵 庫 県) 樋口 真臣(大 阪 府)
第40回 (H. 28. 10. 9)	特別表彰 筒井 寛幸(北 海 道) 渡邊 健司(千 葉 県) 礼堂 勇(三 重 県)	高橋 洋一(埼 玉 県)(15回) 森川 雄策(山 口 県)(15回) 岩下 貴士(長 野 県)(10回) 八本木通秋(福 井 県)(10回) 石田 雅明(愛 知 県)(10回) 松本 明(茨 城 道) 刈屋 遵(栃 木 県) 田島 隆行(群 馬 県) 松崎 勝美(神 奈 川 県) 渡邊 易彦(山 梨 都) 春日井和幸(愛 知 都) 片田 敏司(岐 阜 県) 多田 慎吾(香 川 県) 安東 鉄男(大 分 県)
第41回 (H. 29. 10. 8)	特別表彰 澤田 哲也(北 海 道) 吉田 卓実(静 岡 県)	嶋村 和彦(群 馬 県)(15回) 檜山 尚浩(福 岡 県)(15回) 山下 淳(大 阪 府)(15回) 工藤 涉(青 森 県)(10回) 吉本 大輔(高 知 県)(10回) 金子 哲久(埼 玉 県) 井上 直哉(東 京 都) 和田 雅史(東 京 都) 相羽 秀昭(愛 知 県) 馬場 健太郎(熊 本 県)
第42回 (H. 30. 10. 7)	特別表彰	薄井 敏朗(千 葉 県)(20回) 桂 剛(大 阪 府)(15回) 平田 和義(大 阪 府)(15回) 新井 伸章(埼 玉 県)(10回) 登本 茂芳(埼 玉 県)(10回) 坂本 周作(神 奈 川 県)(10回) 斉藤 公志郎(長 野 県)(10回) 湊谷 知幹(京 都 府)(10回) 古味 直憲(高 知 県)(10回)

回・年月日	氏名
第42回 (H. 30. 10. 7)	<p>有櫛 裕樹(北海道) 木村 清徳(宮城県) 野田 康二(宮城県) 松田 幸泰(秋田県)</p> <p>高橋 喜久雄(山形県) 真中 進(茨城県) 倉井 康雄(栃木県) 荻野 和重(埼玉県)</p> <p>村田 四郎(埼玉県) 室田 次朗(神奈川県) 渡辺 直也(山梨県) 内山 貴之(長野県)</p> <p>佐々木 西盛(福井県) 佐藤 泰史(静岡県) 渡邊 正人(静岡県) 森 正仁(愛知県)</p> <p>羽田野 剛(愛知県) 川崎 洋平(三重県) 日下部 正樹(岐阜県) 渡邊 勇次(岐阜県)</p> <p>久西 睦人(滋賀県) 杉尾 裕司(滋賀県) カンパル・プレミアム(京都府) 井上 彰二(京都府)</p> <p>大西 辰博(京都府) 梶谷 登(奈良県) 磯田 和伸(兵庫県) 伊藤 和仁(大阪府)</p> <p>田村 修(広島県) 若月 宏之(山口県) 山口 剛志(山口県) 河邊 法隆(香川県)</p> <p>大平 篤(香川県) 音泉 秀樹(香川県) 沖 秀和(愛媛県) 魚崎 陽一郎(愛媛県)</p> <p>亀岡 英仁(愛媛県) 堀 敏夫(徳島県) 永竿 茂男(大分県) 今村 昭紀(大分県)</p> <p>古澤 均(佐賀県) 兵動 信博(佐賀県) 清崎 威朗(熊本県) 林 岩宏(鹿児島県)</p>
第43回 (R. 1. 10. 14)	<p>特別表彰 宮本 隆弘(神奈川県)(15回)</p> <p>根岸 清道(神奈川県)(10回) 田中 寿人(石川県)(10回)</p> <p>茂木 春喜(高知県)(10回)</p> <p>工藤 重孝(北海道) 西尾 義裕(北海道) 葉名尻 亘(北海道) 渡部 康光(宮城県)</p> <p>相沢 寿(茨城県) 石井 洋(群馬県) 小野塚 弘(群馬県) 根岸 誉和(群馬県)</p> <p>渡辺 和洋(群馬県) 渡辺 良行(群馬県) 渡邊 公(千葉県) 清水 泰平(神奈川県)</p> <p>松村 直行(長野県) 浅井 友哉(愛知県) 古市 博己(三重県) 岡田 達也(京都府)</p> <p>木村 友慈(奈良県) 木村 正明(和歌山県) 山口 真一(大阪府) 田中 栄一(岡山県)</p> <p>福井 宏治(愛媛県) 見原 道生(宮崎県)</p>

7階 大道場 会場図



6階 国際部道場 会場図



6階 学校道場 会場図

